

第4期天草市本渡地域まちづくり計画

～掘り起こそう本渡の宝 伝えよう本渡の魅力～



天草市 本渡地域

制 定 日	令和8年3月
改 正 日	

第4期天草市本渡地域まちづくり計画 目次

1	計画のあらまし	1
1.1	計画策定の趣旨	1
1.2	計画の性格	1
1.3	計画の期間	1
2	本渡地域の概要	2
2.1	位置・地勢	2
2.2	面積・土地利用	2
2.3	人口・世帯数	3
2.4	地区別人口分布	5
3	めざす姿	11
3.1	めざす姿を実現するための計画	11
3.2	取り組みによって解決が期待される課題	12
4	計画の推進体制	13
4.1	実施	13
4.2	評価・改善	13
5	地域別計画	14～61
5.1	本渡南地区振興計画	14～17
5.2	本渡北地区振興計画	18～23
5.3	亀場地区振興計画	24～27
5.4	栢宇土地区振興計画	28～32
5.5	志柿地区振興計画	33～37
5.6	下浦地区振興計画	38～42
5.7	楠浦地区振興計画	43～47
5.8	本町地区振興計画	48～51
5.9	佐伊津地区振興計画	52～56
5.10	宮地岳地区振興計画	57～61

1 計画のあらまし

1.1 計画策定の趣旨

本市においては人口減少・過疎化・少子高齢化・地域の担い手不足などの課題により、継続的な地域活動やコミュニティの維持が懸念されています。このような状況の下、地域住民のつながりと共助による活動の推進、さらには一人ひとりが地域に対する愛着と誇りを持つことが、持続可能なコミュニティの形成につながります。

そのためには、地域住民が一体となって、地域コミュニティを支えるさまざまなまちづくりの施策を計画的に、かつ、効果的・効率的に推進する必要があります。

そこで、本渡地域のまちづくりの指針となる「天草市本渡地域まちづくり計画」を策定し、「未来へ続く魅力ある地域」の実現を目指します。

今回、第3期天草市本渡地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに、これからの本渡地域がめざす姿、実現するための計画を掲げた第4期計画を策定しました。

1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本渡地域がめざす姿を実現するための基本的な方向を示しています。
- ② 本市が策定する「第3次天草市総合計画後期基本計画」と方向性を共有しながら、地域が主体となって取り組む計画として策定します。
- ③ 本渡地域の住民が地域全体で、自らのまちづくりに取り組む方向性を示しています。

1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和11年度までの4年間とします。

また、本渡地域がめざす姿と実現するための計画として、具体的なアクション、解決が期待される課題と効果を目標として示しています。

2 本渡地域の概要

2.1 位置・地勢

本地域は、天草市の中央部に位置し、周囲を美しい海に囲まれた天草諸島の中で、天草上島の一部と天草下島の一部で構成されています。地形は、山岳・丘陵地が多く、平野部は少なく、河川沿いの平地部や海岸線の河口部に市街地や集落、農地が展開し、それらを結ぶように海岸線沿いに国・県道などが配置・整備されています。

本地域は、天草市の政治・経済の中心的な役割を担っており、産業は、第3次産業を主としています。その他、温暖な気候を活かした農業や、豊かな水産資源を活かした漁業などが営まれています。また、美しい自然景観、南蛮文化やキリシタンの歴史など、多くの観光資源にも恵まれています。

図1 本渡地域位置図



2.2 面積・土地利用

本地域の総面積は 144.83 km²で、天草市の中で最大を誇り、市面積の約 21% を占めています。

土地利用については、全体の約 80% を農地・山林で占めており、宅地・道路用地については約 9% となっています。

表1 本渡地域面積（2018（平成30）年10月1日現在）

	本渡地域	天草市
面積（km ² ）	144.83	683.87
割合（%）	21.2	100

（国土地理院九州地方測量部）

2.3 人口・世帯数

表2 本渡地域の人口、世帯数の推移

区分	2005 (H17) 年	2010 (H22) 年	2015 (H27) 年	2022 (R2) 年
人口 (人)	39,944	38,834	38,177	36,640
世帯数 (世帯)	14,576	14,687	14,908	14,940
世帯当たり人員 (人)	2.74	2.64	2.56	2.45

(国勢調査)

図2 本渡地域の人口、世帯数の推移

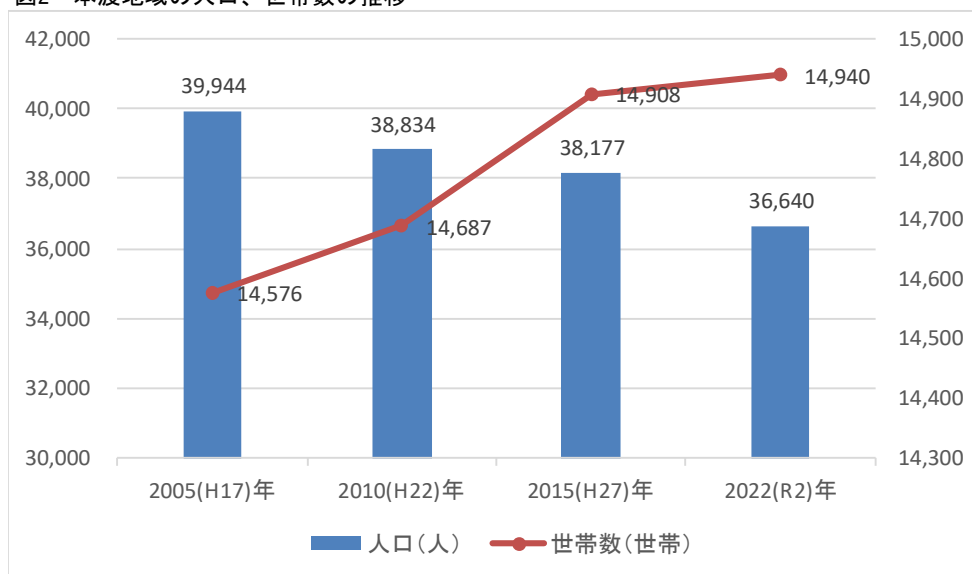


表3 本渡地域の総人口、年齢階層別人口の推移

区分	2005 (H17) 年		2010 (H22) 年		2015 (H27) 年		2022 (R2) 年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
総人口	39,944	100.0	38,834	100.0	38,177	100.0	36,640	100.0
0～14歳	6,357	15.9	5,858	15.1	5,746	15.1	5,277	14.4
15～64歳	23,811	59.6	22,556	58.1	21,273	55.7	19,369	52.9
65歳以上	9,760	24.4	10,299	26.5	11,158	29.2	11,799	32.2

(国勢調査)

※総人口には年齢不詳者を含むため、年齢階層別人口の合計とは一致しません。

図3 本渡地域の総人口、年齢階層別人口の推移

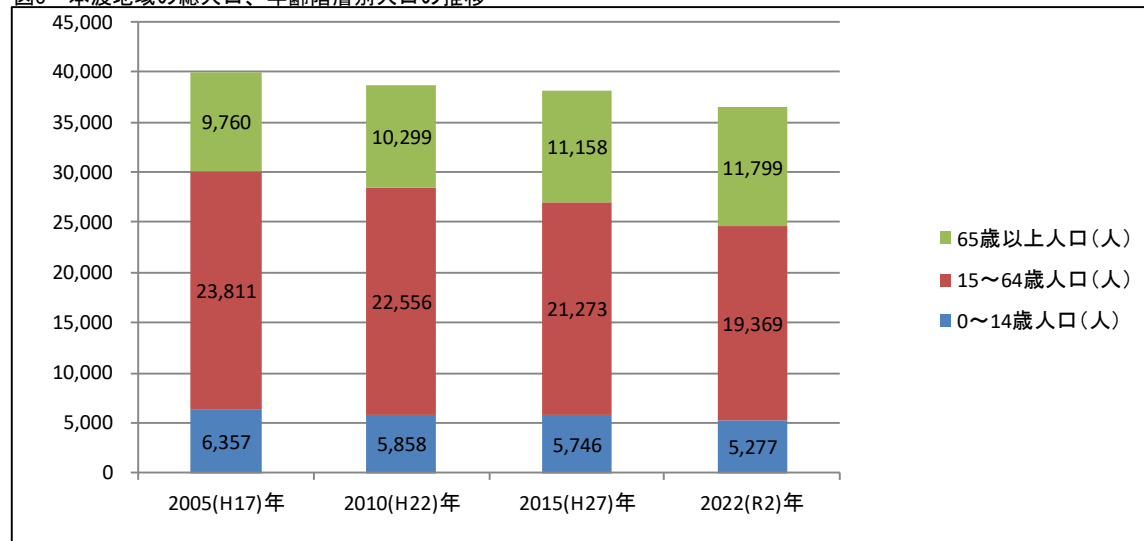


表4 本渡地域の産業別就業者数の推移

区分	2005 (H17) 年		2010 (H22) 年		2015 (H27) 年		2020 (R2) 年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
就業人口総数	18,600	100.0	17,711	100.0	17,979	100.0	17,633	100.0
第1次産業	1,358	7.3	1,129	6.4	1,010	5.6	932	5.3
第2次産業	3,200	17.2	2,503	14.1	2,571	14.3	2,458	13.9
第3次産業	13,982	75.2	13,788	77.8	14,387	80.0	14,137	80.2

(国勢調査)

※就業人口総数には産業分類不能者を含むため、産業別就業者数の合計とは一致しません。

図4 本渡地域の産業別就業者数の推移

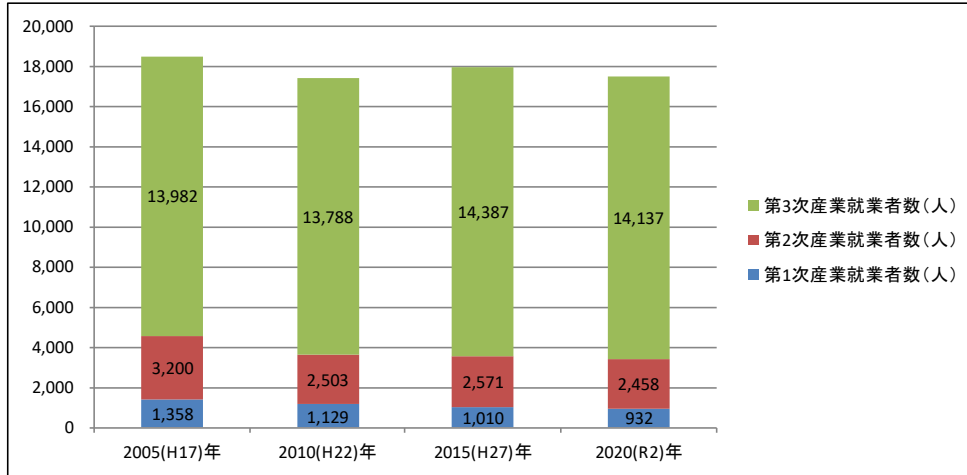


表5 本渡地域の総人口、年齢階層別人口の推移 (将来予測)

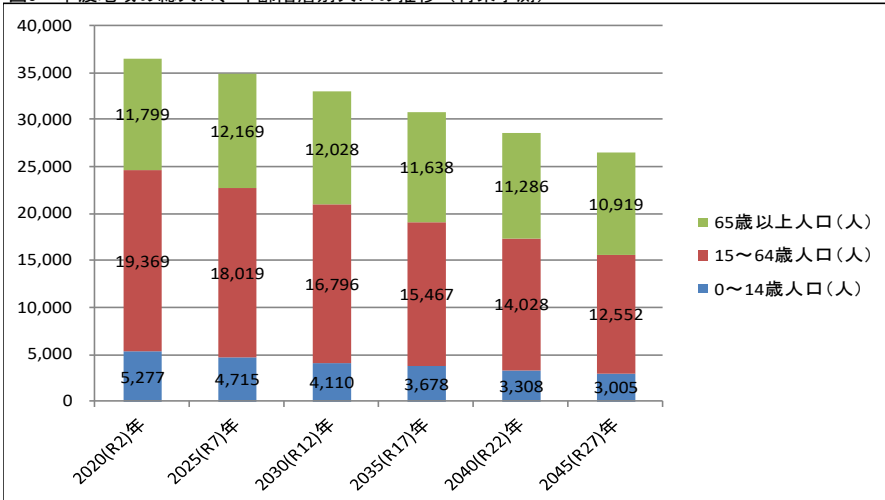
区分	2020 (R2) 年		2025 (R7) 年		2030 (R12) 年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
総人口	36,640	100.0	34,903	100.0	32,934	100.0
0~14歳	5,277	14.5	4,715	13.5	4,110	12.5
15~64歳	19,369	53.1	18,019	51.6	16,796	51.0
65歳以上	11,799	32.4	12,169	34.9	12,028	36.5

区分	2035 (R17) 年		2040 (R22) 年		2045 (R27) 年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
総人口	30,783	100.0	28,622	100.0	26,476	100.0
0~14歳	3,678	11.9	3,308	11.6	3,005	11.3
15~64歳	15,467	50.2	14,028	49.0	12,552	47.4
65歳以上	11,638	37.8	11,286	39.4	10,919	41.2

(2020年：国勢調査、2025年～2045年：市政企画課)

※2010年から2020年の国勢調査の人口推移を基に、コーホート変化率法を用いて2025年から2045年までの将来予測人口を算出。

図5 本渡地域の総人口、年齢階層別人口の推移 (将来予測)



2.4 地区別人口分布

本渡地域

表6 本渡地域の人口分布（令和8年1月末日現在）

本渡地域	0～10歳		11～20歳		21～30歳		31～40歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	3,118	8.9	3,483	10.0	2,348	6.7	3,095	8.9
本渡地域	41～50歳		51～60歳		61～70歳		71～80歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	4,391	12.6	4,683	13.4	4,874	14.0	5,000	14.3
本渡地域	81～90歳		91歳以上		合計			
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)		比率(%)	
	2,886	8.3	979	2.8	34,857		100	

(住民基本台帳)

※比率は表示単位未満を四捨五入したものであり、合計が一致しない場合があります。



本渡南地区

表6 本渡南地区の人口分布（令和8年1月末日現在）

本渡南地区	0～10歳		11～20歳		21～30歳		31～40歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	580	7.5	748	9.7	515	6.7	558	7.2
本渡南地区	41～50歳		51～60歳		61～70歳		71～80歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	977	12.7	1,113	14.4	1,073	13.9	1,214	15.7
本渡南地区	81～90歳		91歳以上		合計			
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)		比率(%)	
	716	9.3	219	2.8	7,713		100	

(住民基本台帳)

※比率は表示単位未満を四捨五入したものであり、合計が一致しない場合があります。



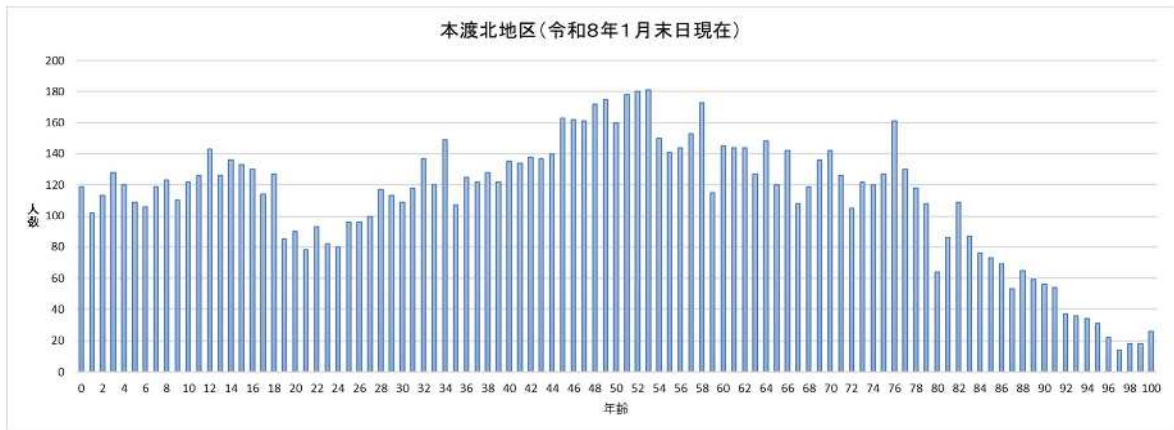
本渡北地区

表6 本渡北地区の人口分布（令和8年1月末日現在）

本渡北地区	0～10歳		11～20歳		21～30歳		31～40歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	1,271	11.2	1,210	10.7	964	8.5	1,263	11.1
本渡北地区	41～50歳		51～60歳		61～70歳		71～80歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	1,542	13.6	1,560	13.8	1,330	11.7	1,181	10.4
本渡北地区	81～90歳		91歳以上		合計			
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)		比率(%)	
	733	6.5	290	2.6	11,344		100	

(住民基本台帳)

※比率は表示単位未満を四捨五入したものであり、合計が一致しない場合があります。



亀場地区

表6 亀場地区の人口分布（令和8年1月末日現在）

亀場地区	0～10歳		11～20歳		21～30歳		31～40歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	525	12.0	557	12.7	309	7.1	466	10.6
亀場地区	41～50歳		51～60歳		61～70歳		71～80歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	620	14.2	562	12.8	495	11.3	506	11.6
亀場地区	81～90歳		91歳以上		合計			
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)		比率(%)	
	260	5.9	76	1.7	4,376		100	

(住民基本台帳)

※比率は表示単位未満を四捨五入したものであり、合計が一致しない場合があります。



栢宇土地区

表6 栢宇土地区の人口分布（令和8年1月末日現在）

	0～10歳		11～20歳		21～30歳		31～40歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
栢宇土地区	20	3.9	29	5.7	12	2.4	20	3.9
	41～50歳		51～60歳		61～70歳		71～80歳	
	66	12.9	70	13.7	94	18.4	114	22.4
	81～90歳		91歳以上		合計			
	68	13.3	17	3.3	人口(人)		比率(%)	
					510		100	

(住民基本台帳)

※比率は表示単位未満を四捨五入したものであり、合計が一致しない場合があります。



志柿地区

表6 志柿地区の人口分布（令和8年1月末日現在）

	0～10歳		11～20歳		21～30歳		31～40歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
志柿地区	164	6.8	239	9.9	126	5.2	191	7.9
	41～50歳		51～60歳		61～70歳		71～80歳	
	260	10.8	331	13.7	365	15.1	447	18.5
	81～90歳		91歳以上		合計			
	225	9.3	65	2.7	人口(人)		比率(%)	
					2,413		100	

(住民基本台帳)

※比率は表示単位未満を四捨五入したものであり、合計が一致しない場合があります。



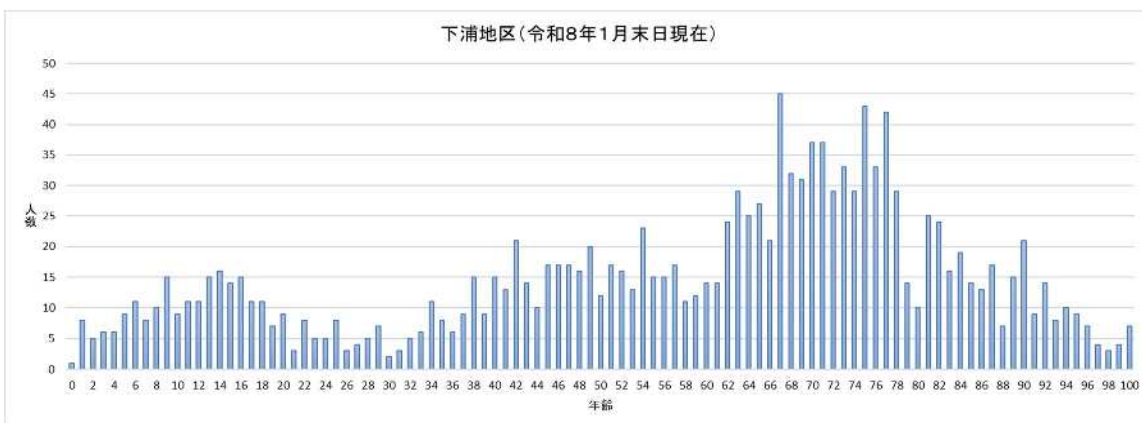
下浦地区

表6 下浦地区の人口分布（令和8年1月末日現在）

	0～10歳		11～20歳		21～30歳		31～40歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
下浦地区	88	5.9	120	8.1	50	3.4	87	5.9
	41～50歳		51～60歳		61～70歳		71～80歳	
	157	10.6	153	10.3	285	19.2	299	20.1
	81～90歳		91歳以上		合計			
	171	11.5	75	5.1	人口(人)		比率(%)	
					1,485		100	

（住民基本台帳）

※比率は表示単位未満を四捨五入したものであり、合計が一致しない場合があります。



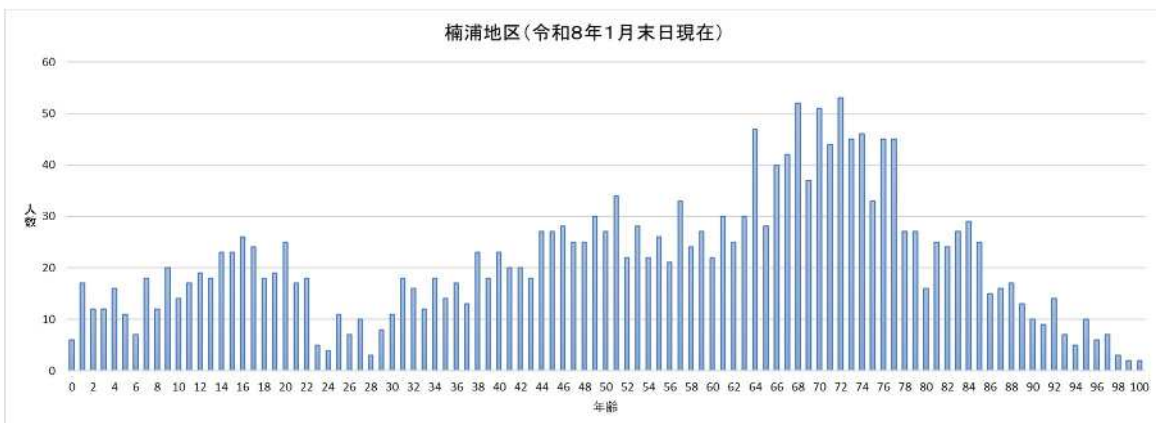
楠浦地区

表6 楠浦地区の人口分布（令和8年1月末日現在）

	0～10歳		11～20歳		21～30歳		31～40歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
楠浦地区	145	6.7	212	9.8	94	4.4	172	8.0
	41～50歳		51～60歳		61～70歳		71～80歳	
	247	11.4	259	12.0	382	17.7	381	17.7
	81～90歳		91歳以上		合計			
	201	9.3	65	3.0	人口(人)		比率(%)	
					2,158		100	

（住民基本台帳）

※比率は表示単位未満を四捨五入したものであり、合計が一致しない場合があります。



本町地区

表6 本町地区の人口分布（令和8年1月末日現在）

本町地区	0～10歳		11～20歳		21～30歳		31～40歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	69	4.7	112	7.6	80	5.4	84	5.7
本町地区	41～50歳		51～60歳		61～70歳		71～80歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	176	11.9	191	12.9	272	18.4	269	18.2
本町地区	81～90歳		91歳以上		合計			
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)		比率(%)	
	160	10.8	66	4.5	1,479		100	

(住民基本台帳)

※比率は表示単位未満を四捨五入したものであり、合計が一致しない場合があります。



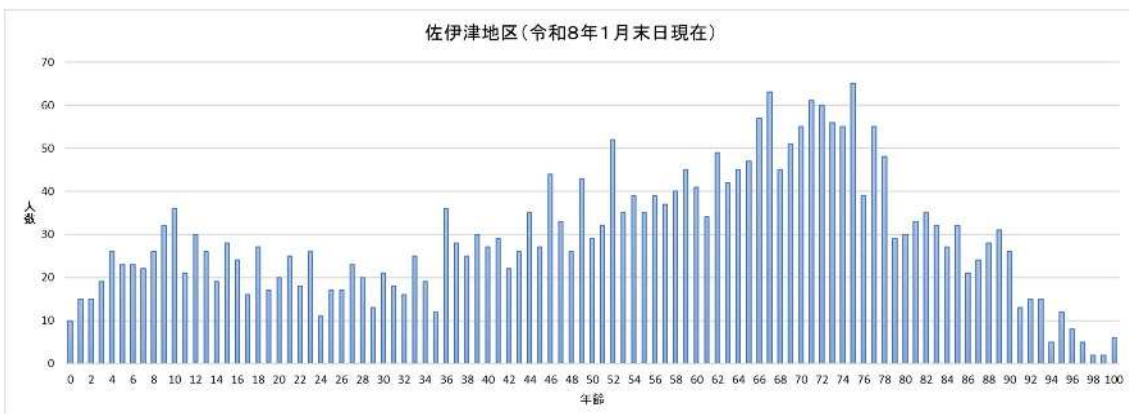
佐伊津地区

表6 佐伊津地区の人口分布（令和8年1月末日現在）

佐伊津地区	0～10歳		11～20歳		21～30歳		31～40歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	247	8.3	228	7.7	191	6.4	236	7.9
佐伊津地区	41～50歳		51～60歳		61～70歳		71～80歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	314	10.6	395	13.3	488	16.4	498	16.8
佐伊津地区	81～90歳		91歳以上		合計			
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)		比率(%)	
	289	9.7	83	2.8	2,969		100	

(住民基本台帳)

※比率は表示単位未満を四捨五入したものであり、合計が一致しない場合があります。



宮地岳地区

表6 宮地岳地区の人口分布（令和8年1月末日現在）

宮地岳地区	0～10歳		11～20歳		21～30歳		31～40歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	9	2.2	28	6.8	7	1.7	18	4.4
宮地岳地区	41～50歳		51～60歳		61～70歳		71～80歳	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
	32	7.8	49	12.0	90	22.0	91	22.2
宮地岳地区	81～90歳		91歳以上		合計			
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)		比率(%)	
	63	15.4	23	5.6	410		100	

(住民基本台帳)

※比率は表示単位未満を四捨五入したものであり、合計が一致しない場合があります。



3 めざす姿

1. 古いも若きも楽しく交流し、元気があるまち
2. ふれ合い、支え合い、みんなが安心して暮らせるまち
3. 地域の魅力があふれるまち

3-1 めざす姿を実現するための計画

	4年間で実施する事柄	具体的なアクション
1	① 人材を育て活力あるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり人材育成 ・まちづくり研修 ・未来の大人応援プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりを推進する地域リーダーの育成を行う ・先進的な取り組みを行う地域を視察する ・本渡地域の高校と連携し、地域ビジネス創出事業の取り組みを推進する
	② 人の交流が盛んなまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・区加入対策 ・子どもの居場所づくり ・若者の交流促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の未加入者に対して、区への加入促進活動を行う ・子どもが学び、地域で交流する場を提供する ・各地域で、小・中・高校と連携して地域活動を行う ・各地域で若者の参加を視野に入れた行事を行う
2	③ ふれ合い、支え合い、安心して暮らせるまち <ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らせるまちづくり ・高齢者が住みよいまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のための交流拠点（サロンなど）を充実させる ・弁当配布など高齢者の見守りを行う ・移動・買い物支援等について検討を行う
	④ 災害に強く、住みやすいまち <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力の強化 ・環境美化の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区内の安全確認や防災訓練を行い、災害時の協力体制を強化する ・防犯カメラを設置し、犯罪や交通事故等の未然防止と早期解決を図る ・クリーン活動や美化活動により地域の環境美化を推進する
3	⑤ 地域の宝を活かした魅力あるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源のPR活動 ・まち協だより発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で行われるイベントや地域の資源について、ホームページやSNS、広報により発信する ・まちづくりに関する情報や協議会の周知のため地域機関紙を発行する

3-2 (3-1) の取り組みによって解決が期待される課題

《本渡地域が抱える課題》

- ・ 地域、地区活動の担い手不足による活動の低迷
- ・ 若年層の地域、地区活動への参加者減
- ・ まちづくりの担い手となるリーダー人材育成
- ・ 高齢者の見守り、支援対策 ・ 移動手段、買い物支援対策
- ・ 住民同士のふれあい、関係づくり ・ 子どもの居場所づくり
- ・ 区への未加入者増への対策 ・ 防犯、災害発生時の対策
- ・ 地域資源の保存、継承 まちづくり活動への関心の軽低下 など

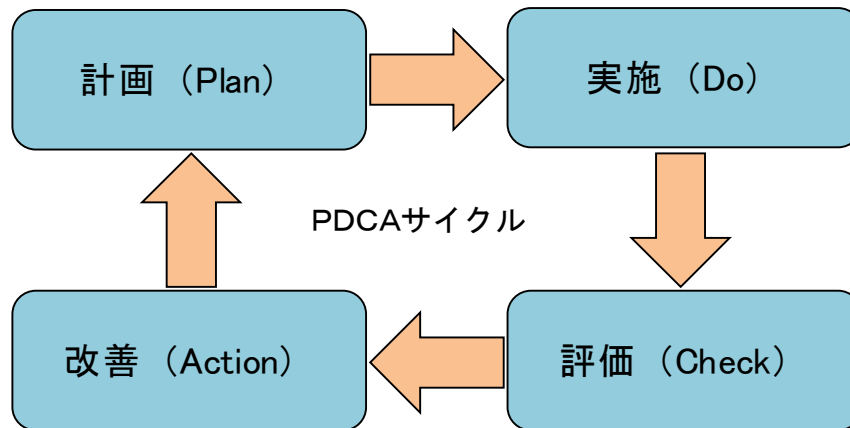
解決が期待される地域課題と効果		
1	①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の担い手となる人材を育成することで、地域の特性を生かしたまちづくり活動の継承と発展につながる ・ 先進地を訪問し、取り組みを肌で感じることで、知恵を学ぶとともにアイデア（発想）への気づきを得ることができ、現在の活動への反映や新たな取り組みが展開される ・ 地域の高校生が行う、地域課題解決の取り組みを支援することで、ビジネス視点での地域資源の活用と地元生産者等との交流促進、郷土愛の醸成につながる
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区に加入し情報を共有、活動を共にすることで、住民同士の関係が強化されるとともに、共助の推進につながる また希薄化している“人と人とのつながり”を取り戻す ・ 地域の伝統行事や文化などを子ども達に伝えることで、郷土への誇りを持つことができるとともに、世代間交流が促進され、温かみのある“まち”がつけられる ・ 若い世代が地域活動に参加することで、世代間の交流が促進されるとともに、地域の担い手育成につながる
2	③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃から高齢者と地域住民、高齢者同士の交流が生まれ、つながることによって、お互いに幸福感ある生活を営むことができる ・ 地域の人口が減っても、また、高齢化率が高くなっても安心して暮らせる環境が整えられる
	④	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の災害危険箇所等の確認、災害発生時の心構えを習得することで、住民同士の協力体制が強化され、万一の場合でも迅速な対応ができる ・ 危険箇所（事故、防犯等）を地域で点検し、防犯カメラを設置することで、地域住民の安心感の向上や防犯意識が高まる ・ 地域住民の生活環境への意識が高まるとともに、きれいな環境で住み続けることで豊かな心の醸成につなげることができる
3	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源を知り、再認識することで、地域への関心度が高まり、地域に誇りをもつことができる また地域の魅力を外部に発信することで、地域を応援するファンを増やすことができる ・ 地域の活動を PR することで、地域内の情報伝達と、地域全体への参加意欲が高められるとともに連帯感が醸成される

4 計画の推進体制

本計画の推進体制については、本渡まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返す PDCA サイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図8 天草市本渡地域まちづくり計画の評価・見直し(PDCAサイクル)



4.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に本渡まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

4.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度 1 回以上本渡まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)		14.21
人口(人)	総人口	8506
	15歳未満	1109
	15～64歳	4401
	65歳以上	2940
高齢化率(%)		34.8
就業人口(人)	第1次産業	109
	第2次産業	563
	第3次産業	3500
世帯数(世帯)	総世帯数	3736
	高齢単身者	569
行政区数(区)		21
学校	本渡南小学校、天草高等学校	
文化財・史跡	(国指定)祇園橋、天草四郎陣中旗 (国登録)天草文化交流館 (県指定)山口の施無畏橋 (市指定)染岳の霊場、本渡南の梵字板碑と礎石、尾越の板碑、諏訪神社の大蘇鉄 (その他)木山弾正の墓、淡島神社、天草の乱激戦の跡、殉教戦千人塚	
その他地域資源	城山公園、十万山、南公園、本渡諏訪神社、染岳観音院、本渡中央銀天街、しろう天草観光朝市、本渡運動公園多目的広場、本渡第一映劇、キリシタン館、天草宝島国際交流会館ポルト、南川プロムナード、天草市複合施設ここらす、天草市民センター	
地域伝統芸能	天草桜まつり、天草ほんどハイヤ祭り、諏訪神社秋の例大祭(本渡の市)、八坂神社例大祭、	
地域づくり団体	本渡町地域婦人会、本渡南民生・児童委員協議会、本渡南老人クラブ連合会、本渡南体育協会、南三区振興会、食生活改善推進員協議会、賑わいのまちづくり委員会、山口ホテルの里づくり実行委員会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>天草の行政・商業の中心地であり、人口も多く、島の賑わいを醸している。 農村部・商業地域・住宅地・官公庁などが混在しており、農村部においては互助の精神が色濃く受け継がれている。 行政・医療・文化・体育・商業等々の諸機関や歴史遺産も手の届く範囲にあり利便性が高い。 教育施設(保育園、幼稚園、小学校、高校)が整っており子育ての環境がよく住みやすい地区である。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>地域の繋がりが希薄になっており、少子高齢化が進みつつある。 若い世帯は共働きが多く、地域行事を行う担い手が少なくなっている。その為、行事関係者の負担が増えると共に、祭礼やスポーツ行事、地域や地区の行事、ボランティア活動等が年々支障をきたしつつある。 大型商業施設の進出により商業地域としての機能が衰退してきている。 子どもの居場所が少なくなっている。</p>		



十万山から望む本渡南地区の市街地

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	災害に強い、共助のまちづくり
考え方	高齢者世帯の増加、一人暮らしの増加、地域のつながりが希薄になってきている等々ある為、共助の精神で地域住民同士と支えあい見守っていくまちを目指します。 安心・安全のまちづくり。賑わいのあるまちづくり。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の影響や、隣接地区での郊外型大型商業施設の立地、宅地開発等があり、相対的に中心市街地・まちの賑わいは低下している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を活性化させる手段として、様々な活動を行う。 ・冬の期間に複合施設「ここらす」にプロジェクションマッピング等を投影し交流人口を増やし賑わいのまちづくりを目指す。 ○まちづくり研修会 ○イルミネーション事業 等々
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化を継承する後継者の育成。 ・地域の美しい自然を守り活かしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鯉のぼりを泳がせ、子どもたちに伝統文化の継承を図る。 ・ホテルの里づくりを通じて、地域資源の再発見と美しい景観の継承を図ります。 ○鯉のぼり事業 ○山口ホテルの里づくり事業
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・年々人口が減少し、高齢化、少子化に歯止めがかからない。 ・高齢化の影響や共稼ぎ世帯の増加等により、行事への参加者が固定化されつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民相互の親睦と融和を深めると共に地域の活性化を行うため、子どもから高齢者まで気軽に楽しく参加できる活動等を実施します。 ○地域振興の担い手づくり ○各種スポーツ大会の実施
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・住民一人ひとりが生涯を通じて学ぶことができるような取り組みを行う必要がある。 ・小学校の児童数も減少し、行政区単位での行事参加に支障が出ているところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館と協力して、老人大学の一部を地区振興会の主催事業として行い、高齢者の学習の機会の確保に努めます。 ・地域内にある5園合同による就学前児交流活動に取り組みます。 ・十万山公園からの自然景観の再発見と将来への引継ぎ ○老人大学の実施 ○就学前児交流活動の実施 ○十万山公園スケッチ大会
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住む高齢者が安心して生活できるよう、住民同士のふれあいや支えあいを進め、高齢者が安心して暮らせる環境の整備を行います。 ○各年齢層の料理教室の実施 ○健康体操の実施(コミセンにいたてみゆう会)
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内にコンビニ等、夜間営業を行う店が増えてきている。 ・自然環境のよさや伝統的な祭り、ご近所同士の助け合い、人情のこまやかさなどの点から今後も今よりも住みやすい地域の環境整備を行っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で見守り活動を行い、子育て環境の整備、充実を図ります。 ・地域の一人暮らしの高齢者に弁当を届け、見守りとともに地域とのつながりを実感して頂く ○地域みまもり隊事業 ○資源物回収支援活動 ○ふれあい見守り弁当の提供 ・住民参加の防災に強いまちづくりを目指して、一日一汗運動や防災・炊き出し訓練等を実施し、住民同士が安心して暮らすことができるよう取り組みを行います。 ・十万山公園等の環境・景観の保全を行政と協働し行っていきます。 ○十万山公園等環境保全事業 ○花づくり教室

本渡南地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期			
				R8	R9	R10	R11				5年以上
A	イルミネーション事業	冬の期間(11月~1月)に複合施設「こころす」にプロジェクションマッピング等を投影し交流人口を増やし賑わいのまちづくりを目指す。	冬季の期間実施							賑わいのまちづくり委員会	
A	まちづくり研修会事業	講師を招き、まちづくりや自然災害への対応方法などをテーマとして講演会を実施する。	年2回実施							南三区	
B	町山口川に泳ぐ鯉のぼり事業	4月下旬から5月上旬にかけて、約100匹の鯉のぼりを泳がせる。多くの人に見てもらえるように地区振興会だより等を通じて周知を図る。	年1回およそ2週間実施							中山口区	
B	山口ホテルの里づくり事業	5月にホテルの観賞会を行う。町山口川(溝端地区付近)のホテル生息域の草刈、清掃等を行い環境の整備に努める。	イベントを年1回実施 5月におよそ三週間の観賞期間500名							山口4区	
C	グラウンド・ゴルフ大会	5月に区や老人クラブ対抗での団体戦、個人戦の種別で開催する。参加者が増えるように振興会だより等を通じて周知を図る。	参加者170名 30チームの参加							体協	
C	ソフトボール大会	区対抗で開催する。参加チームが増えるように振興会だより等を通じて周知を図る。	区内8チームの参加							体協	
C	親子ナイトドッジビー大会	夏休みに開催する。参加者が増えるように南小PTAや地区振興会だより等を通じて周知を図る。	校区4チームの参加							体協	
C	大運動会の開催	11月の第2日曜日に開催する。寄付金や参加者が増えるように各地区の体育推進委員と協力して取り組みを行う。	参加者600名							体協	
C	ミニバレーボール大会	2月に区対抗でフリーの部、40歳以上、60歳以上の部の種別で開催する。参加チームが増えるように振興会だより等を通じて周知を図る。	25チームの参加							体協	
C	歩け歩け大会	3月に開催する。参加者が増えるように南小や地区振興会だより等を通じて周知を図り、コース編成も年度で変更していく。	参加者200名							体協	
D	老人大学日帰り研修の開催(生涯学習)	本渡地区公民館の老人大学の10月の講座を地区振興会が主催して日帰り研修を行い、参加者の親睦と教養を高める。	年1回実施 参加者50名							振興会	
D	就学前児交流活動	南小体育館で開催し、ゲームや歌を取り入れた遊びを通して、他の園の園児と交流を図り、小学校入学がスムーズになるように取り組みを行う。	年2回実施							協働	
D	十万山公園スケッチ大会	絵画をととして十万山公園からの自然景観の再発見と将来への引継ぎを目指し、南小、北小、亀場小、本中、稜南中の児童・生徒に参加を呼びかけ実施する。	年1回実施 参加者/ボランティア100名							協働	

本渡南地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期			
				R8	R9	R10	R11				5年以上
D	教育・教養のつどい(映画鑑賞)	天草唯一の映画館「本渡第一映劇」にて映画を通じて心のゆとりや癒し、教育・教養を育んでいく。	年2回実施 参加者各50名							振興会	
E	料理教室の開催	男性や子どもを対象とした料理教室を行い、料理の楽しさや食事を楽しんでもらう。	年4回実施							食生活推進員	
E	コミセンへいたてみゆう会	気軽にコミセンへ出向いて頂き、健康体操やニュースポーツ等を通じて、区民の健康づくりや、生き甲斐づくりを目的とする。	年1回実施 参加者20名							振興会	
E	ふれあい見守り弁当	婦人会と民生委員の協力を受け、地区内の80歳以上の一人暮らしの世帯に調理した弁当を見守り活動をかねて届ける。同時に南小学校4年生の児童民生委員からの手紙を届ける。	年1回 スタッフ延40名 配布先約200戸							振興会	
F	地域みまもり隊事業	小学校の登校時に主な交差点でのみまもりを行う。また防犯グッズの購入や地域安全マップの見直しなども行う。	交通事故ゼロを目指す。							小学校	
F	資源物回収支援活動	多くの方に協力してもらえるように、案内チラシの配付や振興会だより等を通じて周知徹底を図る。	年1回実施							中学校	
F	子ども育成講演会事業	講演会を通じてこころの教育の一助とする。	年1回 参加者700名							小学校 中学校	
F	一日一汗運動	年1回、区が中心となって、地域の状況に合わせた計画を立てて実施する。参加者が増えるように区での回覧や地区振興会だより等を通して周知を図る。	参加者700名							各区	
F	防災炊き出し訓練	婦人会と協力し、毎年3月の火災予防週間にあわせて実施する。炊き出しとあわせて、防災監の講話や消防署員のAED操作方法説明、消火訓練等を行う。	参加者100名							振興会	
F	十万山公園等環境保全事業	地域資源である十万山からの美しい景観・環境を維持し、次世代に引き継いでいくことを目的に実施する。 ・十万山公園の清掃ボランティア活動を行う。	年1回 清掃活動 参加者200名							協働	
F	花づくり教室	参加者に花づくりの楽しさを知って頂き、家庭を花で彩り、地域の美化推進に貢献する。	年2回 参加者各50名							振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	7.9	
人口(人)	総人口	11,098
	15歳未満	1,929
	15～64歳	6,511
	65歳以上	2,567
高齢化率(%)	23.3%	
就業人口(人)	第1次産業	146
	第2次産業	653
	第3次産業	4,788
世帯数(世帯)	総世帯数	4,615
	高齢単身者	451
行政区数(区)	15	
学校	あまくさ幼稚園、本渡北小学校、本渡中学校、天草拓心高等学校、天草支援学校高等部	
文化財・史跡	大矢遺跡出土品(県指定重要文化財)、延慶寺の兜梅(県指定天然記念物)と高札、明德寺山門、木山家古文書、市ノ瀬橋と石碑(以上、市指定文化財)、大矢遺跡(県指定重要文化財)、茂木根横穴墓群、木山弾正の墓、三宅藤兵衛の墓(以上、市指定文化財)、部将の墓、丸尾が丘(天草学林跡の記念碑)	
その他地域資源	水の平焼、丸尾焼、明德寺、延慶寺、西の久保公園、広瀬公園(長島茂雄球場)、本戸公園、広瀬川のつつじの景観、本渡海水浴場、本渡歴史民俗資料館、本戸馬場八幡宮、わくわく本渡児童館、あましんスタジアム(大矢崎緑地公園)	
地域伝統芸能	八幡宮神楽舞い	
地域づくり団体	区長会、女性部連絡協議会、体育振興会、青壮年会連絡協議会、老人クラブ連合会、民生児童委員協議会、食生活改善推進員会、消防団、交通安全北地区部会、あまくさ幼稚園、本渡北小学校PTA、本渡中学校PTA	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・街並みがきれいで、車などの通行がしやすい。 ・行政機関や商業施設、医療機関、文化施設などが身近にあり、利便性が高く、安心して生活できる。 ・保育園や幼稚園、小・中学校、高校等があるなど教育環境が整っており、安心して子育てができる。 ・西の久保公園や本戸公園、広瀬公園、大矢崎緑地公園(陸上競技場等)、本渡海水浴場など、地域住民の憩いの場となる公園等が多い。また、西の久保公園には花菖蒲園や自然生態園などがあり、広瀬公園には野球場やテニスコートなどがあって、多くの人たちに利用されている。 ・広瀬川や小松原川をはじめ、市街地周辺が緑に囲まれているなど、豊かな自然に恵まれている。 ・2月に見ごろを迎える延慶寺の兜梅や、4月に広瀬公園・城山公園に咲き誇る桜、5月に花開く広瀬川沿いのつつじ、6月に西の久保公園に咲くハナショウブは、多くの人たちの目を楽しませ、心を和ませてくれる。 ・各区に地域伝統行事が残っており、子ども会活動を通じて継承されている。 ・スポーツフェスタやクリーン活動、伝統ある体育行事などを行っており、世代間・地域間の交流が図られている。 		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅やアパート、マンションが増加し、「隣に誰が住んでいるか知らない」といった話が聞かれるようになってきている。地区内に以前から住んでいる人と、新たに住み始めた人とのコミュニケーションをどのようにして図っていくかが課題となっている。 ・近年、区に加入しない人・子育て世代でも未加入者(特に若年層)や地域行事・伝統行事に参加しない人が多くなっており、地域の人と人とのつながりが希薄になってる。 ・区によっては、老人会(各地区の老人会が減少している)や青壮年会、女性部、子ども会など各組織間・組織内の交流の機会が少なくなってきた。 ・地区の65歳以上の高齢者は4,500人以上が住んでおり、一人暮らしの高齢者などの数は年々増加している。また、認知症の人も増加傾向にあり、このような人たちに対する地域住民の支援のあり方や、災害発生時の対応などが課題となっている。 ・小学生と、自転車で登校する中学生が接触事故を起こさないか心配(通学路には危険箇所も多い)。また、子どもたちの登下校時は車の通行量も多く、事故が起きないか心配である。 ・ゴミの野焼きや他地域からの持ち込みによる不法投棄が見られ対応が難しい。 ・飼い猫の放し飼いや野良猫に餌をやる人がいるなど、地域猫にする活動が難しくなっている。 		



広瀬川のつつじ

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

<p>テーマ</p>	<p>みんなでつくろう！ 心豊かで活気あふれる“本渡北地区”</p>
<p>考え方</p>	<p>市内最大の人口約1万人以上が住む本渡北地区は、土地区画整理事業などにより、良好で機能的な都市空間が形成されたほか、豊かな自然にも恵まれているなど、利便性が高く、大変住みよいまちとなっています。しかし近年、区(自治会)に加入しない人や地域行事に参加しない人が多くなっており、地域の人と人とのつながりが希薄になりつつあるなど、多くの課題があります。こうした課題の解決に向け、地区内に以前から住んでいる人と新たに住み始めた人、子どもから高齢者までが一体となって、地域住民の心ふれあう交流や健康・福祉の増進、きれいな街並みや豊かな自然の保全などを図りながら、「活気にあふれ、心豊かに安心して暮らせる“本渡北地区”づくり」を目標としています。</p>

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅やアパートなどの増加に伴って人口も増加傾向にあるが、区に加入しない人や地域行事・伝統行事に参加しない人(まちづくりに関心がない人)が多い。若い人の参加が少ない。 ・ツツジが咲き誇る広瀬川の景観など、すばらしい地域資源を生かした取り組みが必要である。しかし、近年剪定作業や雑木伐採等の協力者の高齢化と、つつじ・下草・雑木の成長が早く、世話が追いつかない状況である。 ・学校や地域などが連携し、子どもたちを見守り、育てていくことが必要である。 ・ミニバレー大会・ウォークラリーなど伝統ある行事が多い。 ・子どもたちと地域の人たちがふれあう機会が少なくなっている。 	<p>■心ふれあい、さらに賑わう地域づくり</p> <p>本渡北地区は、人口が増加傾向にある、市内でもまれな地域です。しかし一方で、地域の間関係が希薄になっているとの意見があります。そのため、人と人との交流に重点を置き、伝統ある行事を通じて心ふれあう地域づくり活動を展開します。また、さらに賑わいのある地域とするため、地域資源を生かした取り組みも推進していきます。このほか、地域づくり活動のけん引役となる担い手の発掘・養成などにも努めていきます。</p>
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者や認知症の人が増えており、地域住民がどのようにして支えていくかが課題である。 ・子どもたちと地域の人たちがふれあう機会が少なくなっている。 	<p>■健康で幸せな生活が送れる地域社会づくり</p> <p>子どもたちと地域とのふれあいの機会の減少や、一人暮らしの高齢者等が増加しているため、青少年育成団体や地区社会福祉協議会などと連携し、子どもや高齢者などが安心して充実した生活を送ることができる地域福祉活動を推進します。</p> <p>あまくさ幼稚園・本渡北小学校と連携して本渡北地区子育て支援本部を設立し、児童の健全育成に努めます。</p> <p>■北小学校の社会体育移行により、各活動を地域の方で支えて活動を継続していくことに努めます。</p>
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・街並みがきれいで、豊かな自然も多い。 ・住民の憩いの場となる公園が多く、たくさんの人たちに利用されている。 ・ゴミの野焼きや他地域からの持ち込みによる不法投棄がみられる。 ・飼い猫の放し飼いや野良猫に餌をやる人がいるなど、地域猫の活動が難しくなっている。 ・車の通行量が多いなど、小・中学生の事故(特に登下校時)が心配である。 ・地区内に遊技施設や人気のない公園があり、子どもが非行に走ったり、犯罪が起きたりしやすい環境がある。 ・高齢者などの数が多く、災害発生時の対応が課題である。 	<p>■快適で住みよい生活環境づくり</p> <p>本渡北地区は、きれいな街並みや住民の憩いの場となる公園、豊かな自然などを持つ地域です。こうした街並みや公園、自然などを保全するため、環境美化活動などを積極的に展開します。また、環境を守り、育て、生かすまちづくりにも努めていきます。</p> <p>■安心・安全なまちづくりの推進</p> <p>本渡北地区には、遊技施設や人けのない公園があるほか、車の通行量も多く、犯罪や事故が起きたり、子どもが非行に走ったりしやすい環境があります。また、高齢者数は4,500人を超えており、災害発生時の対応などが課題となっています。こうしたことから、防犯・交通安全・防災の取り組みを展開するなど、安心・安全なまちづくりの推進に努めていきます。</p>

本渡北地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期			
				R8	R9	R10	R11				5年以上
【C】 地域振興	自治活動等・先進地視察研修	区長などを対象に、自治会活動やまちづくり活動などで先進的な取り組みを行っている地域の視察研修を実施する。	年1回実施							区長会	
【C】 地域振興	区加入促進に関する検討	区未加入者に対する加入促進についての検討を、随時実施する。	対策会議年1回実施。							区長会	
【C】 地域振興	クリスマス・イルミネーション	11月中旬から1月上旬にかけて、主要施設などにイルミネーションを設置・点灯する。	50人前後参加							青壮年会	
【C】 地域振興	らくらく教室	北地区在住の女性などを対象に、地域づくりや健康、福祉、環境などをテーマとした講座を、年2回程度実施する。	30人前後参加							女性部	
【C】 地域振興	生ゴミリサイクルによる元気なまちづくり	コンポスト(バクテリアdeキエーロ)により各家庭で生ゴミを堆肥化し、ごみ減量に取り組む。	導入家庭を1家庭以上増やす							女性部	
【C】 地域振興	スポーツフェスタ	子どもからお年寄りまで、だれもが気軽に参加できる個人参加のスポーツフェスタを、10月の第4日曜日に実施。	100人前後参加							体育振興会	
【C】 地域振興	地区振興会だより発行	地位行事や各種のお知らせなどを掲載し、毎月1回、区加入世帯などに配付する。	4200部以上作成							振興会	
【C】 地域振興	ホームページ管理	地区振興会だよりの紙面・内容や、行事予定などをホームページに掲載する。	月1回更新							振興会	
【C】 地域振興	地域リーダー養成事業	地域づくりについての各種講座や先進地視察研修などに積極的に参加する。	毎年1名参加							振興会	
【C】 地域振興	各種サークル活動	ミニバレーや健康体操、空手など体育系13、囲碁やオカリナなど文化系3、子ども食堂1の計17サークルの活動を支援する。	現在と同様の規模を維持する							振興会	
【E】 保健・医療・福祉	青壮年レクリエーション大会	青壮年会会員を対象に大会を、2月下旬に実施する。	30人前後参加							青壮年会	
【E】 保健・医療・福祉	青壮年スポーツ交流事業	各区・青壮年会对抗スポーツ大会を実施する。	30人前後参加							青壮年会	
【E】 保健・医療・福祉	青壮年ミニバレーボール大会	各区・青壮年会对抗の大会を、6月中旬に実施する。	70人前後参加							青壮年会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

本渡北地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
【E】 保健・ 医療・ 福祉	レディース・ミニバレーボール大会	北地区の女性チームや公民館サークルチームなどを対象に、5人制による大会を、7月の第1日曜日に実施する。	40人前後参加	→					体育振興会	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	北地区ウォークラリー	北地区在住の小学生以上を対象に、5～8kmのコースを歩きながら、名所・旧跡などをめぐる。(平成27年度から2コース)	190人前後参加	→					体育振興会	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	北地区ミニバレーボール大会	11月・第4週の3日間程度、各区分対抗による5人制の大会を実施する。	180人前後参加	→					体育振興会	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	本渡北スマイル学園	5月から翌年2月までの毎月1回、各種の講座などを実施する。	250人前後参加	→					老人クラブ	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	北老連レクリエーション大会	老人クラブ会員など高齢者を対象とした大会を11月中旬に実施する。	30人前後参加	→					老人クラブ	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	各区敬老会	各区単位で敬老会を実施する。	合計1000人前後の参加を目指す。	→					区長会	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	命のバトン事業	高齢者宅に配付した命のバトン(緊急時に必要な救急情報を入れた容器)について、高齢者宅を定期的に訪問し情報を更新する。	利用者宅を毎年1回以上訪問する。	→					民生児童委員	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	伝承遊び交流会	北小学校PTAふれあいフェスタの日に合わせ、児童を対象とした折り紙あそびを実施する。(約120人参加)	ボランティアスタッフを1名以上増やす	→					民生児童委員	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	北小児童レクリエーション大会	児童を対象としたレクリエーション大会を実施する。	50人前後参加	→					北小PTA	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	ふれあいフェスタ	物品や食のバザー、各種ゲームなどを、11月上旬に実施する。	200人前後参加	→					北小	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	家庭教育講演会	児童の保護者などを対象に年1回、家庭教育をテーマとした講演会を実施する。	100人前後参加	→					北小PTA	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	資源物回収活動	生徒・保護者が年1回、各区の家庭などをまわり、資源物を回収する。	700人前後参加	→					本中PTA	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

本渡北地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
【E】 保健・医療・福祉	子ども育成講演会	生徒の保護者などを対象に年1回、子ども育成をテーマとした講演会を実施する。	700人前後参加						本中PTA	
【E】 保健・医療・福祉	小学生料理教室	北小学校の児童(16人程度)を対象として、5月から翌年3月までの毎月第2土曜日に、季節に応じた料理などを作る。	月20人前後参加						食改推進委員会	
【E】 保健・医療・福祉	6園合同交流会	北小校区の幼稚園2園と保育園4園の交流会	年2回実施						あまくさ幼稚園	
【F】 生活環境・防犯・防災	北地区クリーン活動	7月の第4日曜日に、各区単位で清掃作業などを実施する。	2,000人前後参加						区長会	
【F】 生活環境・防犯・防災	ツツジで彩る景観づくり	今釜・広瀬の両区民がそれぞれ年3回、広瀬川両岸に咲くツツジの剪定など維持管理活動を行う。	両区の活動に100人以上の参加						区長会	
【F】 生活環境・防犯・防災	青壮年・清掃奉仕活動	青壮年会員が、北地区内にある公園などの清掃作業を行う。	50人前後参加						青壮年会	
【F】 生活環境・防犯・防災	高齢者清掃活動	老人クラブ会員が年1回、各区ごとに公園や自治公民館周辺などの清掃作業を行う。	80人前後参加						老人クラブ	
【F】 生活環境・防犯・防災	防災訓練	防災訓練を実施したことがない区を対象に、防災に関する講話や炊き出し訓練、心肺蘇生法の実技などを実施する。 (R8年城下区・R9年山仁田区・R10年大矢崎区・R11年今釜区)	毎年1地区以上で実施						区長会	
【F】 生活環境・防犯・防災	防犯パトロール「地域みまもり隊」	児童の登下校時などに、北地区のみまもり隊会員等が腕章などを付けて随時巡回し、子どもたちを見守る。	毎月1回以上実施						北小PTA	
【F】 生活環境・防犯・防災	地域安全マップ	北小PTAの会員を中心に、地域の危険箇所などを点検し、マップを作成。北地区の各家庭に配付する。	5～6年ごとにマップを作製し、全世帯に配布。						北小PTA	
【F】 生活環境・防犯・防災	危険箇所看板設置	地域の危険箇所や、設置済み看板の状況などを調査し、2月に看板の新設・交換を行う。	更新を含め100か所程度に設置						北小PTA	
【F】 生活環境・防犯・防災	交通安全教室	各地区の行事で依頼があれば、交通安全教室を行い、車での事故防止及び自転車の交通ルールをしっかりと身につけ、違反や事故の防止につなげていく。	年1回以上実施 毎回10人以上参加						交通安全北支部	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

本渡北地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
【F】 生活環境・ 防犯 防災	花づくり教室	花づくり教室をすることで、地域の景観に関心を持ち、景観保全に努める。	30人前後参加	→				振興会		
【C】 地域 振興	竹灯籠づくり講座	イルミネーション点灯の時期に合わせて、竹灯籠づくり講座を実施する。	15人前後参加	→				振興会		
【E】 保健・ 医療・ 福祉	料理教室	男女問わず、大人や子どもを対象に料理教室を開催。	年2回実施	→				振興会		
【C】 地域 振興	学びの広場 「北ゼミ」	幅広い年齢層が楽しみながら短時間で受講できる講座を開催。	年3回～4回実施	→				振興会		

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)		9.9
人口(人)	総人口	4,326
	15歳未満	823
	15～64歳	2,440
	65歳以上	1,037
高齢化率(%)		23.9
就業人口(人)	第1次産業	76
	第2次産業	302
	第3次産業	1,701
世帯数(世帯)	総世帯数	1,740
	高齢者のみ	191
行政区数(区)		13区
学校	亀川小学校、稜南中学校、天草工業高等学校、本渡看護専門学校	
文化財・史跡	亀川古寺古墳群、志安橋(石橋)、恵比曾道路改修記念碑、瀬戸航路浚渫記念碑、亀場町戦没者慰霊碑	
その他地域資源	食場神社、熊野坐神社、住吉神社、粟島神社、ミニ巡礼八十八か所、祇園神社、金毘羅大権現、亀川十五社、通山天満宮、友尻天満宮、帽子岳神社、瀬戸航路を望む遊歩道。	
地域伝統芸能(無形文化財)	熊野坐神社例大祭、神幸行列(鳥毛)、亀川獅子舞、お神楽、太鼓踊り、食場神社例大祭(秋祭り)	
地域づくり団体	区長会、婦人会、商友会、長寿会、子ども会ほか	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>天草下島の玄関口で、農林業が身近にあり、亀川による水資源、水生動物が多く、山・川・海の自然環境に恵まれている。亀川流域に住宅地が広がり、道路も整備され交通の利便性が良い。加えて大型商業施設も多く、大型病院や福祉施設、教育施設(保育園から高校、看護学校まで)も充実しており、本渡市街地の衛星町として、新興住宅による人口も増加している。</p> <p>あいさつ運動(20年間)による町民同志の親交が深く、高齢者等への援助・福祉意識も高く、郷土を愛するかたが多いため、社会教育・地域コミュニティの拠点である、亀場地区コミュニティセンターの利用も多く、振興会行事への参加者も多い。</p> <p>近年、大型避難場所(稜南中学校体育館)の空調設備等が整備され、自主防災組織を中心に防災研修等を実施し、災害に対する心構え、防災研修・防災意識が高まってきている。</p>		
地区が抱える課題・困っているところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・亀川(2級河川)が中央を流れてるため、豪雨や津波による河川氾濫災害に弱い。山間部は山火事、集中豪雨による土砂崩れの危険性がある。 ・新興住宅、核家族化により区への未加入世帯が多くなっている。そのためゴミの処理、道徳性の欠如が多くみられる。 ・地域行事等が多いが、各種イベント用品収納倉庫がない。また、町民運動広場がない(天草工業高校グラウンドを借用、現在水害被害で使えない) ・地区による区長、民生員の後継者(希望者)がいない。 ・住宅地へのイノシシ出没問題。 		



(瀬戸より亀場町の風景)

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	あいさつと防災意識が高い、「まちづくり」。
考え方	20年前から続けている毎月の「あいさつ運動」が効果を上げ、町民同士の信頼が高まり、いつ起こるかわからない災害を想定した防災研修による防災意識と「共助」が芽生え始めている。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地を貸し出し家庭菜園。 ・豪雨災害で壊れた農地への取水所と水路の復旧と利用計画。 ・イノシシ被害防除、駆除対策 	<ul style="list-style-type: none"> ○限りある資源を活用したまちづくり ・地域資源を把握し、活用する。 ・新興住宅者へ休耕地を家庭菜園として貸出。
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の史跡や名所に関する歴史や由来を記載した案内看板を11カ所整備している。 ・案内看板を活用したウォークラリー開催。 ・瀬戸航路の浚渫歴史の案内板を設置。 ・亀川河口一帯の浚渫(埋め立て事業)の歴史を語る会。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域(歴史)を学びを活かす町づくり ・地域の史跡や名所、案内看板を設置保全する。 ・瀬戸航路に架かる橋の歴史を調査、語る。
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで地域みんなが楽しめるイベントを開催(ふるさと祭り、イルミネーション設置、各種スポーツ大会)している。 ・区未加入者への区への加入呼びかけ、祭りイベントへの勧誘。 ・地域住民のコミュニケーション作り。 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなが参加するまちづくり ・多くの町民が参加できる事業を実施する。 ・地域内の学校や各団体と協力しながら実施。 ・あらゆることに集い、誘いあうことでのコミュニケーションを高め、孤独になることを少なくする。 ・区未加入者対策を実施する。
【D】 人材教育	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と地域の交流、あいさつのできる児童の育成のため、あいさつ運動を行っている。 ・地域学校協働推進員と共同して「未来の大人」を地域で育てる。 ・高齢者学級(鶴亀学級) ・地域伝統行事へ社会教育への参加することによる人材育成。 ・振興会行事へスタッフとしての参加による人材育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域と学校が未来の大人を育むまちづくり ・地域と学校が協力しながら、実施する。 ・町内歴史、昔遊び、戦争体験話の体験学習 ・地域伝統行事(祭り)、振興会事業へスタッフとして参加することによる社会教育、企画発案、推進の実践教育、育成。
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全育成のため、事業(七夕会、クリスマス会、お雛様会)を実施している。 ・子どもと高齢者の交流のため、昔遊び(亀川小学校と共同活動) ・料理教室を実施している。 ・福祉弁当による独り暮らしの見守り、支援活動。 ・戦没者追悼式を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○笑顔で元気なまちづくり ・子どもと高齢者向けの事業を実施する。 ・恒久の平和を願う事業を実施する。 ・4月戦没者追悼式に小学生を招待する。
【F】 亀場地区自主 防災組織の充 実	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる災害に対応できるように、亀場地区社会福祉協議会、亀場自主防災組織が主となって防災研修を行う。 ・安全な町を目指し、防犯パトロールなどを実施している。 ・きれいな町を目指し、クリーン作戦などを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難指示時が発令されたとき、稜南中学校体育館で避難者を亀場地区自主防災会効率よく、安全に運営し、行政が対応支援するまで運営。 ・安心安全で快適なまちづくり ・きれいで安全な町を目指し、清掃活動や見回り活動を実施する。 ・非常時に円滑に避難できるように準備や訓練を行う。

亀場地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
B	地域づくり事業	地域内の史跡や名所を記載した案内板を活用したウォークラリーを開催する。また看板が破損した場合は、随時補修する。新しい史跡の案内板設置。	ウォークラリー120人以上参加	→					振興会	区長会・地域づくり部会
C	ふるさと祭り	子どもから高齢者まで楽しめるイベントとしてステージ発表、出店、ゲームコーナーを行う。地域内の保育園、学校、自主クラブ・各団体に参加・協力してもらう。稜南中学校ボランティア協力。	出演団体5団体以上、出店10店以上の参加	→					振興会	地域づくり部会
F	亀場地区イルミネーション事業	冬季の楽しみと交通安全の意識付けを目的に、亀川小学校・稜南中学校美術部と協力して12月中亀川小学校前の国道沿いにイルミネーションを設置する。	設置・撤去協力者は総数50人以上	→					振興会	地域づくり部会
F	各種スポーツ大会	町民の健康維持と増進、町民同士の親睦と融和を目的に各種スポーツ大会(総合球技大会・町民体育大会・ミニハレ大会)を開催する。	個人参加、チーム参加総数1000人以上	→					振興会	体育推進部会
F	あいさつ運動	月2回(1・15日)町内4カ所朝の登校時児童と町民の交流・見守り、交通安全及びあいさつ励行を目的に行う。	あいさつ部会・区長会・民生委員・保護者・交通安全協会、毎回20人事情	→					振興会	あいさつ部会・区長会・民生委員・保護者
E	亀場地区敬老会	高齢者を敬い、祝い、記念品を贈呈する。75歳以上の高齢者を招待し、熱中症対策として食場・亀川地区の合同敬老会をサンタカミングホテルで行う。	参加者総数200名以上	→					振興会	区長会・民生委員
E	亀っ子健全育成事業	子どもの積極的行動と地域社会との融和を目的に、幼児、小学生とその保護者向けに事業(七夕会・クリスマス会・お雛様会、子ども防災キャンプ)を実施。	各事業ごとに50名以上参加	→					振興会	青少年育成部会・亀場地区自主防災会
E	世代間交流	亀川小学校と連携して「昔遊び」を実施、子どもたちが地域の大人と一緒にコミュニケーションスキルを学ぶ。		→					振興会	青少年部会・老人会・婦人会
E	健康づくり事業	調理経験や知識向上目的に、食生活改善推進員の指導により、年4回料理教室を開催する。	各回10人以上参加	→					振興会	食生活改善員
E・D	亀場地区戦没者追悼式	戦没者の永遠の冥福を祈るとともに、恒久平和を祈願するため、4月上旬に行う。亀川小学校・稜南中学校生徒を招待する。	区長会他50名以上が参列	→					振興会	区長会・遺族会
	環境美化活動	きれいな町を目指し、クリーン作戦(町内一斉清掃)を実施する。	亀場町全域	→					振興会	生活環境部会

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。


亀場地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
F	稜南中学校避難所による防災研修	いつどこで発生するかわからない災害に、あわてることなく、行政に頼ることなく、防災知識、意識を高め、自らの命を守り、ともに助け合う研修を行う。	年8回の研修、青少年防災キャンプ、成人防災キャンプの実施						亀場地区社会福祉協議会・振興会	区長会・亀場地区自主防災会・亀場地区社会福祉協議会・各種団体
E	福祉活動の充実	孤独死を防ぎ、一人暮らしの高齢者等へ福祉弁当を配布。励まし、サロン等への参加呼びかけ、安否確認を行う。	毎月1回福祉弁当の配布、および呼びかけ						振興会	区長会・民生委員・婦人会・食改委員
E	亀っ子健全育成事業	「未来の大人を地域で育てる」社会問題になっている子どもの登校拒否、引きこもりなどをなくすために、アナログ時代の創意工夫な「遊び」を通して、地域による世代間交流を行い、大人と子どもの融和を目指す。(七夕会・クリスマス会・お雛様会、子ども防災キャンプ)を実施。いずれも亀川小学校と連携して行う。	年2回「昔遊び」						振興会	青少年部会・老人会・婦人会

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

地区の概要(R2国勢調査参考)		 <p>(山々の清流から成る亀川ダム)</p>	
面積(km ²)	15.31		
人口(人)	総人口		544
	15歳未満		43
	15～64歳		241
	65歳以上		260
高齢化率(%)	47.8		
就業人口(人)	第1次産業		65
	第2次産業		56
	第3次産業		169
世帯数(世帯)	総世帯数	215	
	高齢単身者	35	
行政区数(区)	6		
学校			
文化財・史跡	日露戦争記念事業の植林功労記念碑		
その他地域資源	栢宇土神社、海老宇土神社、溪月庵、亀川ダム(道目木湖)、春田の地藏様(延命地藏)、カツパの証文、トックリ墓、櫛の杜、帽子岳		
地域伝統芸能			
地域づくり団体	栢宇土町防災会、海老宇土郷栄協議会、栢宇土まちおこし協議会、ふるさとまつり実行委員会、栢宇土町婦人会、栢宇土町青年部、子ども会、子どもデイサービスよつばのクローバー、民生児童委員、消防団		
地区のいいところ・自慢できるところ			
<p>亀川ダムがあり、湖面に桜や紅葉を映し、訪れる人々の心を和ませている。温厚で人柄が良く人情がある。自然豊かで治安も良く、近くには病院や大型ショッピングセンターもあり、とても過ごしやすい。スポーツが盛んである。伝統行事を大切にしている。</p>			
地区が抱える課題・困っていること			
<p>山に囲まれた町のため、災害時の土砂崩れが心配される。少子高齢化。高齢者の移動手段。若い世帯の町外流出。町を代表するような特産品がない。</p>			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	健康で明るく住みよい豊かな町づくり
考え方	人口流出や少子高齢化が急速に進みつつある現状では、町民、特に高齢者の健康や生きがいづくりがまちづくりにつながっていくと考えることから、生涯学習の推進や子どもたちとの交流活動、さらにはスポーツ大会をとおり健康づくりの推進に努めます。また、自然豊かで基盤整備が充実しているなど恵まれた環境の農地を十分活かすことで、産業の創出や豊かなまちづくりを行います。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	町の第1次・第2次産業は、担い手不足から衰退しており、歯止めがかけられない状況である。また、特産品の開発や雇用機会の創出についても、取り組みがなされていない状況である。現在まちおこし協議会を中心に樫1,000本プロジェクトに取り組んでおり、今後、町の農産物や資源を活かした活動について協議していく。	・魅力ある農産業の活性化を図り、住民一人ひとりのやる気を引き出しながら、特産品の開発や新たな雇用機会の創出に努めます。 ・樫事業の推進
【B】 観光 ・ 文化	観光スポットや文化財がなく、地域の歴史的資源を活用した事業が実施できていない。今後、現在の地域資源を活用した事業の推進と新たな地域資源の発掘を行いながら、併せて情報発信も行っていく。	・埋もれている歴史的・文化的資源を再確認しながら、町の財産として後世に残すとともに、それらを活かしたウォークラリーなどのイベントを開催し、魅力ある観光や文化の振興を図り、来町者の増加に繋がります。 ・地域資源の発掘 ・樫事業の推進 ・情報発信
【C】 地域 振興	年々人口が減り、少子高齢化に歯止めがかからない状況の中、イベントや行事への参加も減少傾向にある。また、地域の振興にはリーダーとなる存在が必要不可欠であることから、適材適所で人材育成も行っていく。	各イベントや行事について、毎年見直しを行い、地域住民自らが興味を持てるような地域の実情に即した特色ある事業を展開して、参加者の増を図ります。また、人材発掘についても併せて実施します。 ・振興会活動への参加促進及び情報発信とPR ・人づくり教育の推進 ・人材の発掘及び育成
【D】 教育	小学校の統廃合により学校との連携が薄れ、地域内での学校行事の実施がなくなった。再度、学校との連携を深め、子供たちの地域行事への参加を図る。	地域と学校とが連携を密にして、子ども会を中心に子どもたちの健全育成事業等に取り組みます。 ・小中学校との連携・取り組みの周知啓発 ・子どもの健全育成事業の一環として学童保育の充実
【E】 保健・医療 ・福祉	少子高齢化や若い世帯の町外流出により、高齢者のみの世帯や独居高齢世帯が増えてきたことから、更なる地域の見守りネットワークの充実が必要である。また、高齢者の健康寿命を延ばすことを目的として、通いの場ふれあいサロン等への参加者増も図る。	健康増進のための体力づくりや高齢者が安心して生活できる見守りの体制づくりを図ります。 ・高齢者世帯を地域で支え合うまちづくり ・地域見守りネットワークの充実 ・各種スポーツ大会、通いの場ふれあいサロンへの参加の推進
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	町を縦断する国道は交通量も多く、交通事故が発生している。治安は良い方ではあるが、環境整備や防犯・防災、交通安全の研修会を繰り返し実施することにより、更なる町民の意識の向上を図る。	町の宝である美しい自然を後世に残すための自然景観保全活動の充実を図ります。また、住民が安心して生活ができる魅力的なまちづくりを推進します。 ・自然景観保全活動 ・交通安全、防犯活動 ・自主防災会活動の推進

栢宇土地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
A	櫨活動事業	櫨を活用した町づくりの振興を図り、町全体の活性化に繋げていく事を目的に、平成29年度に協議会を発足し櫨まちおこし事業(櫨の木1,000本プロジェクト)として長期計画を策定し現在3地区で約2ヘクタールで櫨の木840本を育成管理している。最初に植栽した櫨が9年目となり、令和3年度から少しずつではあるが櫨の実の収穫が出来ている。櫨は殆ど手間がかからないが、近年の気候変動や鳥獣害など自然災害により枯死する状況であるため、補植を補いながら管理を行っている。本格的には今後成木となり収穫量も増えてくる見込であり町独自の長期プロジェクトであるため、地域の活性化、雇用機会の創出、自主財源の確保並びに環境保全の面から継続する。	櫨の植栽1,000本 櫨の実卸売り						振興会 (まちおこし協議会)	
B	ふるさとの文化遺産案内掲示板設置事業	町のPRと来町者の確保から、地域資源の案内板設置を行う。	栢宇土神社、海老宇土神社、カッパの証文、トックリ墓への案内板設置						振興会	
C	ふるさとまつり事業	地域の農産物の販売や、ステージイベントでは子供たちによる楽器の演奏、ダンスの発表をはじめ、町内外の舞踊等の披露も行われ、誰もが楽しめるふるさと祭りとなっている。町一番の伝統行事でもあり、保育園や小中学校、町民と一緒に考え、創意工夫を凝らしながら開催していく。	出品物400点以上 来場者600人以上						振興会	
C	イルミネーション設置事業	町をPRすることから設置を始め、年々来場者が増え好評であることから、竹灯籠等の創意工夫を行い、更にPRを行っていく。	設置・撤去協力者の総数30人以上						振興会	
C	先進地視察研修事業	町に合った視察場所を選定し、視察後は町民にも周知を行い町の振興に繋げていく。	年に1回実施する						振興会	
C	総合球技大会事業	町民の交流と健康増進を図るため、ミニバレー、グラウンドゴルフ競技及びニュースポーツ等を取り入れ実施する。	町民の参加 200人以上						振興会	
C	ふれあいミニバレー大会事業	町民の交流と健康増進を図るため、自主サークル団体などに呼びかけ、ミニバレー大会を実施する。	6チーム以上の参加						振興会	
C	町民大運動会事業	子供から高齢者まで、すべての年代が参加して楽しめるイベントとして、13種目による運動会を実施する。	町民の参加 300人以上						振興会	
C	道目木湖畔健康の集い事業	町のPRや参加者の健康増進を図るイベントとして、亀川ダム湖遊歩道「1周探索コース3.4km」と「のんびりコース2km」のウォークラリー大会を実施する。	町内外の参加 150人以上						振興会	
C	戦没者追悼式事業	平和について町全体で考える日として追悼式を実施する。	年に1回実施する						振興会 (栢宇土町奉賛会)	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

栢宇土地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期 5年以上			
				R8	R9	R10	R11				
E	敬老会事業	子供の健全育成活動を通し、児童による「敬老作文の発表」や舞踊等を披露し、高齢者に生きがいを感じていただくための交流事業を実施する。開催時期については、高齢者の負担軽減のため再考する必要がある。	敬老者参加100人以上							振興会	
E	高齢者学級	高齢者の健康寿命延伸と交流を図ることを目的に、健康講座や教養講座など、内容を変えながら実施する。	年7回実施 参加者20人以上							協働 (行政+振興会)	
E	健康福祉研修(高齢者日帰り研修)	高齢者を対象にした研修で、バス移動し日帰りで行う。天草内の民俗資料館など施設を巡り再発見や懐かしい話を楽しんで親睦交流を図る。	年1回実施 参加人数15人以上							振興会	
E	地域見守り体制推進事業	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすためには、地域の人々との交流や、暮らすために不便に感じる課題を見つけそれを解決する必要がある。 そのため、高齢者世帯等のマップを作成し、安心安全に生活する上での課題を洗いだし、その解決手段を関係団体と共に協議しながら、地域で見守る体制づくりを行う。	年4回実施する (民生児童委員による随時実施)							協働 (行政+振興会)	
F	環境美化活動	きれいな町を目指し、子供から大人の参加でクリーン作戦(町内一斉清掃)を実施する。	年に1回実施する							振興会	
F	交通安全・防犯研修会事業	町内の交通安全及び防犯を推進することから、警察や関係機関の協力のもと、研修会を実施する。	年に1回実施する							振興会	
F	防災訓練事業	自主防災会の初動体制や会員の任務分担の確認、住民の安全管理の徹底、防災に対する意識の向上を図ることから、避難誘導、安否確認訓練、炊き出し訓練、消防団の訓練など実施する。併せて、町内で予想される災害についても確認を行い、それに向けた訓練も取り入れていく。	年に1回実施する							振興会+自主防災組織	
F	花いっぱい運動	沿道やコミュニティセンター玄関付近に季節の花を植えて景観保全に努める。	年2回実施する 参加人数30人以上							振興会	
C	地区振興会だより発行	各事業のお知らせや結果報告、地域の話題を掲載する。毎月1回、区加入世帯などに配布する。	毎月1回、年12回発行							振興会	
C	ホームページ管理	地区振興会だよりの紙面、行事内容や予定などをホームページに掲載する。	毎月更新、HPアクセス団体ランキング30位以内の継続							振興会	
D	子ども会育成事業	子どもの健全育成を目的に、小学生とその保護者向けに事業(七夕会、クリスマス会、お雛様会等)を実施する。 また、子どもデイサービス事業に対し、コミセン利用等において支援を行う。	各事業ごとに30人以上の参加							振興会 (子供デイサービスよつばのクローバー)	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	12.6	
人口(人)	総人口	2,635
	15歳未満	361
	15～64歳	1,339
	65歳以上	915
高齢化率(%)	35.0	
就業人口(人)	第1次産業	84
	第2次産業	222
	第3次産業	1,006
世帯数(世帯)	総世帯数	1,113
	高齢単身者	195
行政区数(区)	12	
学校	本渡東小学校、本渡東中学校	
文化財・史跡	<ul style="list-style-type: none"> ・焼野区開拓記念碑 ・志柿大松戸古墳 ・梧参長老の墓 	
その他地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・加志天満宮 ・瀬戸大王宮 ・瀬戸金比羅宮 ・志柿八幡宮 ・高雲寺 ・ハツ山ハウス団地 ・濱平窯 ・瀬戸海岸遊歩道 ・せど金比羅遊歩道 ・天草教育会館 	
地域伝統芸能	<ul style="list-style-type: none"> ・志柿八幡宮例大祭 ・もぐら打ち ・瀬戸大王宮例大祭 	
地域づくり団体	<ul style="list-style-type: none"> ・志柿婦人会 ・瀬戸女性部 ・志柿夏祭り実行委員会・瀬戸振興会 ・志柿いこい会 ・瀬戸あすなる会 	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・雲仙普賢岳を望むきれいな海岸線が広がっている景色豊かな町である。 ・大規模なデコポンハウス「ハツ山ハウス団地」をはじめ、柑橘類の栽培が盛んで、ドラゴンフルーツなど珍しい果物も栽培されている。 ・環境美化の推進にも取り組み、美しい自然景観を維持している。 ・天草未来大橋の開通で渋滞がなくなり住みやすくなった。 ・住民が協力的である。また、子どもたちを見守ってくれる。 		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化にともない、地区の各種事業においても、運営役員や参加者が高齢化してきている。若い世代の参加が少ない。 ・旧志柿、瀬戸小学校跡地の草払いなどの人手が、年々減少傾向にある。 ・区への未加入者が多い地域がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・公園などがなく、子どもが安全に遊ぶ場所が少ない。 ・耕作放棄地が増えつつある。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が買い物や通院など苦勞している。買い物難民の増加。 ・避難弱者の増加、災害の種類によって避難する場所が異なるので総合的で安心できる避難所が望まれる。 		



(上島下島を結ぶ天草未来大橋、瀬戸大橋、瀬戸歩道橋)

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	自立した 活気あふれる まちづくり
考え方	<p>地区住民自らが事業の運営・実施に取り組み、老若男女問わず誰もが気軽に参加できる地域密着型の事業を展開する。</p> <p>また、地域の歴史・文化・資源などの素晴らしさ知り、郷土愛あふれる人材を育成し、地域に根ざした地区振興会を目指し「自立した 活気あふれる まちづくり」をテーマにまちづくりを行う。</p>

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域資源や文化を有しているが、その魅力を活用できていない。 ・人口減少、少子高齢化が進み、郷土芸能や祭りの担い手が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の利活用、地域文化の継承を図ります。
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う人材が確保できず、地区振興会や各地区の役員等の負担が集中している。 ・夏祭りの実行委員に中学生、高校生の参加を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動の活性化を図ります。 ・異世代の交流を図る事業を実施します。
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴う児童数の減少により、小学校の統廃合が行われた。 ・子どもたちの健全育成のため、地区全体で子どもや子育てを支援する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育、児童の健全育成、生涯学習事業の推進を行います。
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、核家族化が進み、独居等の高齢者世帯が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉の強化、心身の健康増進のために、健康づくり、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉事業の推進を行います。 ・高齢者福祉事業において元気な高齢者にも活躍していただく。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい自然景観を維持するため、積極的に環境美化を推進する必要がある。 ・地区住民の防災意識が低く、自主防災組織は存在するものの多くは形骸化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境の改善及び環境保全の推進を行います。 ・防犯防災意識の高揚。 ・生活環境、環境保全、廃棄物対策、防災、消防、防犯、交通安全、消費生活などの事業の推進を行います。 ・見守り隊を組織して地域の子どもの安全を守り、防犯に努めます。

志柿地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 4年以上		
				R8	R9	R10	R11			
B	志柿町戦没者追悼式	志柿地区出身戦没者124柱の追悼式。無宗教の献花方式で戦没者を慰霊し、恒久平和を祈念する。遺族及び地区住民などが参列する。	後世に伝えるため遺族以外も含め参列者数50人以上を目標とする。						振興会	
C	まちづくり先進地視察研修	まちづくりの先進地視察研修を、役員及び区長等を対象に行う。	2年に1回行う。						振興会	
C	ニュースポーツ体験会	志柿地区住民を対象に、ニュースポーツを体験してもらう	100名参加						振興会	
C	志柿町ミニバレーボール大会	志柿地区住民または、コミセン利用者を対象にミニバレーボール競技を行う。	12行政区すべての参加を目標とする。						振興会	
C	志柿町うんどうかい	各区対抗の大運動会。子どもから高齢者まで参加できるような競技を行う。	子どもから高齢者まで500人以上の参加を目標とする。						振興会	
C	志柿町グラウンドゴルフ大会	小学4年生以上を対象に、グラウンドゴルフ競技を行う。	子どもから高齢者まで100人以上の参加を目標とする。						振興会	
C	体験ふれあい会	本渡東小学校の4年生から6年生を対象に、自然体験を行う。下浦振興会と共催	30人の参加を目標とする。						振興会	・志柿地区振興会 ・下浦地区振興会
C	志柿フェスタ	子どもや地区住民などの作品展示、自主サークルなどのステージ発表、婦人会などの食品バザー等を行う。	200人以上の来場者を目標とする。						振興会	
C	夏祭り支援	夏祭りの実施に伴い、2団体の夏祭り実行委員会に対し、支援を行う。	毎年行っていく。						地域団体 + 振興会	
C	ふるさと応援寄附金促進	「天草市ふるさと納税」により、志柿地区振興会への寄附を広く募集し、地区の地域活性化を図る。	毎年行っていく。						振興会	
C	啓発事業	地域に役立つ題材などを選び、講演会等を行う。	毎年行っていく。						振興会	
D	子ども教室支援	志柿児童館で行われている子ども教室に対し、支援を行う。	毎年行っていく。						振興会	
D	子ども体験事業	小学4年から6年生・中学生を対象にさまざまな体験をしてもらう。	30人を参加目標とする。						振興会	

志柿地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 4年以上		
				R8	R9	R10	R11			
E	志柿町敬老会	70歳以上の高齢者約600人の長寿を祝う敬老会。昼食を準備し、ステージ発表などを行う。毎回、対象者に約半数の参加がある。	・長寿の町を推進し、250人参加を目標とする。	→					振興会	
E	見守り袋配布	緊急入院に備え、入院時に必要となる物品を入れた見守り袋を、独居高齢者等に配布している。	対象者に対して毎年行っていく。	→					振興会	
E	ゆうあい訪問	独居高齢者等の自宅を訪問し、子ども達のメッセージと共に熱中症対策品等配布している。毎回、約200人の対象者へ配布している。	年に2回を目標とする。	→					振興会	
E	料理教室	福祉生活部会員の指導のもと、子供や地域住民を対象に、料理教室を開催している。	年に3回を目標とする。	→					振興会	
E	ふれあいサロン・通いの場支援事業	毎月1回、民生児童委員の主導のもと、各自治公民館等において、6つの高齢者サロン、3つの通いの場が行われており、運営等に対する支援を行う。	6サロン、3つの通いの場以外に新たに開所された場合も支援を行う。	→					地域団体 + 振興会	
F	志柿町一日一汗運動	ゴミ拾いや除草作業などの清掃美化活動を、各区ごとで行う。	自分たちが住む地域の清掃として参加者数700人以上を目標とする。	→					振興会	
F	生活環境・防犯防災対策	防災・消防・防犯・交通安全・消費生活等の対策として、地区住民に対し、啓発活動を行う。	防災・消防・防犯・交通に関することを、年に1回以上広報誌等による周知を行う。	→					振興会	
F	環境にやさしいまちづくり	コミュニティセンターに配布ボックスを常設し、作成したEM菌培養液を、地区住民に無料配布している。	毎月、500mlペットボトルで配布を行う。	→					振興会	
F	花いっぱい運動	地域住民や中学生のボランティアにコミュニティセンター周辺の花壇等に、四季折々の花を植えている。	年2回70名参加	→					振興会	
C	竹あかり作成	竹灯り作りによる地域振興の事業とする。共同で作業することにより、住民の交流を深める。また、放置された竹林の利用の一助とする。	30名参加	→					振興会	
C	せどさくらウォーク支援事業	せどさくらウォーク実施に伴い、瀬戸振興会に支援、運営協力をおこなう。	100名参加	→					地域団体 + 振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	14.4	
人口(人)	総人口	1651
	15歳未満	174
	15～64歳	660
	65歳以上	817
高齢化率(%)	49.4	
就業人口(人)	第1次産業	121
	第2次産業	117
	第3次産業	450
世帯数(世帯)	総世帯数	612
	高齢単身者	131
行政区数(区)	15	
学校	本渡東小学校、本渡東中学校	
文化財・史跡	石工元祖松室五郎左衛門の墓、丸田薬師堂の梵字板碑、船場天満宮の大楠、須森古墳、あこうの木、湯貫新田古墳、先尾串の古墳、金左衛門古墳塔の崎古墳、花岡大明神、弁財天石切丁場跡、志賀様	
その他地域資源	下浦石 下浦ぼんかん・デコポン(柑橘類)	
地域伝統芸能	下浦神社獅子舞 下浦鳥毛行列	
地域づくり団体	開新会、金焼校区活性化協議会、果樹部会、石工部会、しもうら弁天会、交通安全協会防犯パトロール隊・青色灯パトロール隊、天草営農組合、社会福祉法人聖和会、下浦北部保全会、老人会、漁業組合、ざっくばらんの会、下浦石材業推進会	
地区のいいところ・自慢できること		
<ul style="list-style-type: none"> ・下浦石工、天草ぼんかん、天草早期水稻の発祥の地であり、記念碑とモニュメントが建てられている。 ・下浦獅子舞保存会がある。 ・社会福祉施設がある。 ・農事組合法人がある。 ・伝統工芸品「天草土人形」の技術を活かした「下浦土玩具」がある。 ・地産地消や地域活性を主体とした店舗がある。 		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化、人口減少に歯止めがかからず、地域コミュニティ維持や行事の開催に支障をきたしている。 ・農家も高齢化し、ぼんかんを始めとした農作物の生産量の維持が危ぶまれる。耕作放棄地も増大している。 ・鳥獣被害や気候変動等での被害が出ている。 ・石工業においても高齢化が進行し、さらに後継者不足によって存続の危機である。 ・高齢者をはじめとした交通弱者が増加し、買い物や通院などの日常生活が困難になっている。 ・町全体で若者が減少し、さらに独身者も増加している。 		



◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	獅子が舞う石工・ぼんかんの里 下浦町
考え方	獅子舞や石工業を始めとした古き良き伝統と、柑橘を始めとした産業の活性化と共に、地域団体と協力し、町外にも活気のある下浦町をアピールして活動を行っていく。 また、地区の社会福祉施設と連携しながら、高齢者も安心して暮らせる町を作っていく。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・町の主要産業である石工業、柑橘生産において、後継者不足により存続が危まれている。 ・担い手不足により耕作放棄地が増大している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者の育成 ・主要産業の活性化 ・耕作放棄地の利活用
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財や伝統文化を多数有するが、十分に活用できているとは言えない。 ・伝統芸能である獅子舞や鳥毛行列の後継者が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の有効活用 ・後継者の育成 ・フェイスブックやホームページによる情報発信
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進み、人口減少が進んでいる。 ・若者の数が少なく、独身者が増えている。 ・地域におけるリーダーの世代交代が進まない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの活性化 ・少子高齢化に合わせたコミュニティづくり
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数の減少により小学校の統廃合が行われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校の連携 ・協働の推進 ・郷土愛、地元愛の醸成 ・統合による他地区との連携
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化によって高齢者のみの世帯が増えてきており、買い物や通院、ゴミ出し等の日常生活にも支障が出てきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も住みやすいまちづくり ・健康寿命の延伸
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・災害などの非常時に備え、地区住民の防災意識を高める必要がある。 ・不審者や声掛け事案が市内に発生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとの自主防災組織の結成、活性化 ・防犯活動の推進
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・住民への地域の情報の発信 ・SNSを使つての情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・振興会広報の発行 ・ホームページの更新 ・Facebook発信など

下浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
E	下浦町戦没者の慰霊・招魂場美化作業	これまでの幾多の戦役において亡くなられた下浦町戦没者を追悼し、恒久の平和を祈念する。招魂場を維持管理する。	年3回美化作業を実施する						振興会 遺族会 区長	
E	敬老会	町内の75歳以上の長寿者を祝い、これまでの尽力に感謝する。喜寿、米寿、白寿、百賀の方に記念品を配布する。	対象者に配布する						振興会 老人会	
E	ふれあい弁当	町内の70歳以上の独居者に手作り弁当を届ける。毎年10月から3月までに2回開催。1回あたりの配布数は90個。	毎年2回行っていく						振興会 地区施設 小学校	協働 地区施設(特養聖和園)
E	サロン・健康教室	高齢者の独居世帯が増加し、介護を要する高齢者は今後も増加することが推測されるため、介護予防と健康寿命の延伸を目的としてサロン・健康教室等を実施し利用してもらう。	サロン・健康教室の定期開催						振興会 地区施設 社協	協働
F	地域見守り隊	町民が中心となり、防犯ベスト着用による小・中学生等の見守り活動を行う。 ※シルバー見守り隊 ※子ども見守り隊(本渡東小学校)	毎年継続して行っていく						老人会 中学校	
F	防犯・交通安全パレード	夏休みと冬休みの前日に、交通安全や非行防止を呼びかけながら、自動車(青パト等)で町内を一周するパレードを行う。	毎年継続して行っていく						振興会 交通安全協会	協働
F	下浦運動広場クリーン作戦	スポーツ振興課で管理している元下浦中学校跡地のグラウンドを、担当地区を決め、年3回除草・清掃作業などの美化活動を行う。	毎回80名以上の参加を目標とする						振興会	
F	防災訓練	地震、津波等に備えるための防災訓練を、市の避難訓練と合わせて行う。	60名以上の参加を目標とする						振興会	
F	自主防災組織の設置	災害に対して自助・共助を行える体制を整えるため、自主防災組織の設置及び自主防災計画の策定を行う。	自主防災計画の策定。新規地区防災組織の発足。						行政 振興会	協働
H	地区振興会だより「しもうら」の発行	地区振興会の活動状況や町内であった出来事などを、毎月1日号を月末にA4版両面の新聞で町内全世帯に配布する。またホームページ等で町外にも公開する。	毎月継続して行っていく						振興会	
A	特産品(加工)品開発	町の特産である「ぼんかん」等の柑橘類を活用した加工品販売を継続し、農業の活性化を図る。	ふるさと祭りではぼんかんもちの販売を行う。						振興会 果樹部会	共働
A	焼酎「金焼」製造	地元で採れたさつま芋を使った芋焼酎を製造する。	原料となるさつま芋の生産量を維持する						金焼 校区 活性化協議会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

下浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期		
				R8	R9	R10	R11			
B	下浦さるく	・A～Dの4コースのさるくをローテーションで実施して郷土愛を育てるとともに交流人口の増加を図る ・コース及び看板等の整備、事務局やガイドの育成、PR活動等を行う。	メインとなる4コースで年1回のさるくを実施し、50名以上の参加を得る						振興会さるく部会	協働
C	自治活動部会(区長・自治会長)先進地視察研修	年1回、まちづくりや防災の先進地を視察し、地域活性化に務める。 町づくり、地域づくりの先進的な取り組みや、特産品開発等をしている団体等を訪問し、手法や具体的内容などを研修する。 各地の祭りを視察し、ふるさと祭りの改善に資する。青壮年会は11月に実施する。	自治活動部会10名、女性部20名、青壮年会10名の参加を目標とする						振興会	
C	町女性部先進地視察研修								振興会	
C	町青壮年会(開新会)先進地視察研修								開新会	
C	下浦町ふるさと祭り	「獅子が舞う石工とぼんかんの里下浦」のPRを行うことを目的とし、物販や展示、芸能発表などを行う町を挙げた祭りを毎年2月第1日曜日に開催する。	3,000名の来場を目標とする						振興会	
C	コミセン等利用者対抗ミニバレーボール大会	コミセンや小学校体育館を利用してミニバレーボールを行っている団体対抗による交流大会を2月に実施する。	6チームの参加を目標とする						振興会	
C, D	下浦町スポーツ大会	ソフトボール、ミニバレーボール、グラウンドゴルフ、少年柔道の4競技の分団・区による対抗試合を毎年5～6月の日曜日に開催する。競技内容については検討する。	200名の参加を目標とする						振興会	
C, D	町民体育祭	全町民を対象とした体育祭を毎年10月第1日曜日に開催する。競技内容については検討を行う。	800名の参加を目標とする						振興会	
D	生物調査勉強会	夏休み中に小学生を対象にして、地元の方の指導のもと用水路や小川をめぐり、そこに生息する生物の調査を行う。年1回7～8月の日曜日に開催する。	10名の参加を目標とする						振興会北部保全会	
A	地域特産品のPR活動	地区の特産品、石工・ぼんかん・米・魚類を地域店舗・イベント・SNSやHPを通して町外に宣伝していく。また、ふるさと納税の返礼品として活用したい。	地域の店舗やイベント等での販売、SNSでの宣伝。						振興会地域団体	協働
B	観光・文化施設の整備・活用・推進事業	地域の文化財の保護及び整備、案内看板の設置を行う。石切り丁場の公園整備を検討していく。	年1回以上の整備事業(樹木伐採等)						振興会さるく部会	協働
C	イルミネーション事業	各事業所や地域住民と連携し、イルミネーションを展開し、「獅子が舞う石工とぼんかんの里下浦町」をPRする。	12月～1月に点灯する						振興会各事業所	協働

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	19.5km ²	
人口(人)	総人口	2,310人
	15歳未満	285人
	15~64歳	1,105人
	65歳以上	920人
高齢化率(%)	39.8%	
就業人口(人)	第1次産業	101人
	第2次産業	177人
	第3次産業	795人
世帯数(世帯)	総世帯数	879世帯
	高齢者のみ	135世帯
行政区数(区)	13区	
学校	○楠浦小学校 ○稜南中学校	
文化財・史跡	【文化財】 ○楠浦の眼鏡橋○楠浦新田古墳○立浦の板碑○伊賀倉権現古塔群 【史跡】 ○宗像本家 ○釜の迫の堀切 ○宗心寺の仏像 ○八十八カ所 ○あたご神社 ○呑みのこし地蔵 ○楠浦焼の窯跡(皿山) ○天神の森・尋常小学校跡	
その他地域資源	○五色島○楠浦諏訪神社 ○十五社宮 ○天満宮 ○弁天社 ○八坂神社 ○鈴木神社 ○秋葉神社 ○粟島神社 ○恵比須神社 ○金毘羅宮 ○楠浦ダム(映柑湖) ○方原川の源流 ○半兵衛が滝 ○祭淵 ○市民の森 ○帽子岳 ○楠浦中学校跡 ○楠浦小学校方原分校跡 ○本渡地区清掃センター	
地域伝統芸能	○楠浦の掘り切り唄 ○楠浦諏訪神社例大祭の獅子舞と鳥毛振り	
地域づくり団体	○行政区長会、○女性の会、○老人会、○楠浦よかとこ案内人会ほか	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>○山・川・海などの自然環境に恵まれている。○緑が豊かで、空気がきれい。○平坦な地形が多く宅地等に適した土地がある。○伝統文化や文化遺産が多い。○楠浦諏訪神社例大祭の獅子舞や鳥毛振りが素晴らしい。○天草市の中心地に近く、定住する条件等が整っている。○のどかな地域で、犯罪が少なく、子育てに良い地区である。○郷土料理が美味しく、健康的な地区である。○人見知りするが、人柄がよく、親しくなると協力的である。○農産物や水産物が豊富である。○温暖な気候に恵まれ、かんがい排水施設等があり、果樹や野菜、ハウス栽培等に適している。○地区内には保育園、児童館、小学校、運動広場などの施設が整っている。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>○高齢者等が買物する商店が近くにない。○夜道に暗い所がある。○公園など子どもの遊び場が少ない。○バス便が少なく交通が不便である。○下水道が一部の地域しか整備されていない。○鳥獣の出没が多い。○耕作放棄地が多い。○賃貸住宅等が十分でない。○道路が狭く舗装が悪い。○特産品が少ない。○一人暮らし高齢者等が多い。○進んで地域活動をする人が少ない。○犬などのフン処理が悪い。○不法投棄やポイ捨てがある。○家庭から出るごみを燃やしている。○地区に宿泊所が無く食事処が少ない。○昔ながらの子どもの遊びがすたれている。○若者の交流機会が乏しい。○地区の伝統文化や文化遺産が十分周知されていない。○秋祭りの獅子舞や鳥毛振り等の人材確保が難しい。○秋祭りの参加者が少ない。○未婚の若者が多く、相対的に子どもが少ない。○新ごみ処理施設の建設に伴い交通量の増加が不安</p>		



方原川に架かる楠浦の眼鏡橋

◆◆◆ まちづくりの目標 ◆◆◆

テーマ	ずっと住みたい楠浦づくり
考え方	豊かな自然の中で育まれた伝統文化、先人達が築き上げた文化遺産など楠浦の宝を皆で守り次世代に伝承すること等により、郷土愛が芽生え、地域づくりの気運が高まるとともに、地域の連帯感が広がり、誰もが楠浦に「住んでみたい」、「住んでいて良かった」、「これからも住み続けたい」と思う、魅力や活力等がある地域づくりを展開する。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・地域特産品がある。	ホームページを通じて地域特産品の情報を発信し、販路拡大に取り組む。 ○PR事業
【B】 観光 ・ 文化	・町外からの来訪者が少ない。 ・伝統的な秋祭りの人材確保が困難である。 ・地域資源の活用が不十分である。	豊かな自然や伝統文化、文化遺産などの地域資源等を活用し、地域の魅力や活力を高め、地区外にも魅力を発信する。 ○戦没者慰霊事業 ○ふれあいフェスティバル ○伝統芸能保存事業 ○楠浦よかとこ案内人育成事業 ○楠浦よかとこスタンプラリー大会 ○文化財等保全整備事業 ○楠浦町よかとこマップ設置事業
【C】 地域 振興	・進んで地域活動に参加する人が少ない。	地域づくりを担う人材の育成を図るとともに、住民自治によるまちづくりや地域リーダー養成を行う。 ○振興会役員等視察研修
【D】 教育	・生涯学習ニーズが多様化、高度化している。 ・生涯学習やスポーツ活動を通じて、生きがいづくりや交流促進を図る必要がある。	スポーツ大会やイベント等を通じて、ふれあいや交流を深め、地域の連帯感を高めるとともに、豊かな人生を過ごすために生涯学習の機会を増大し、学びを通じて人の輪を広げる事業に取り組む。 ○ミニバレーボール大会 ○ソフトボール大会 ○シニア健康球技大会(グラウンドゴルフ、ボーリング、ゴルフ) ○町民体育祭 ○サークル活動育成事業 ○天草ハイヤ祭りへの参加助成金事業
【E】 保健・医療 ・福祉	・少子高齢化、人口減少に歯止めがかからない。 ・一人暮らし高齢者等が増え、地域での支援が必要である。 ・交流の場が不足している。	健康介護教室を通じて、自分の健康は自分で守ることを基本とした健康づくりを推進し、人口減少等に歯止めをかける。また、高齢者等を地域全体で見守る活動の充実強化を図る。次世代を担う青少年が豊かな人間性、社会性を身につけるために、世代間交流の場の創設など、地域全体で青少年の健やかな成長支援に取り組む。 ○高齢者への記念品配布事業 ○安全安心ネットワーク推進事業 ○いきいき健康事業(健康介護教室) ○ふれあいサロン交流大会 ○子ども秋祭り ○子どもお楽しみ事業 ○黄色い旗運動事業
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・万一の災害に備えた態勢が不十分である。 ・楠浦の宝である文化財等の保全整備を充実する必要がある。 ・ごみの不法投棄やポイ捨てが多い。	防災・避難訓練の充実により安全で安心な社会を創造する。防犯等の啓発を推進し、青少年の非行防止に努める。文化財等の地域資源を守るために、保全整備意識の向上を図り、次世代を担う子どもたちに伝承する。ポイ捨て等の防止に努める。 ○防災・避難訓練 ○避難場所の整備 ○防犯パトロール ○町民清掃活動事業
【H】 総務・企画	・楠浦地区の情報発信、PRが十分ではない。	地区の情報発信を充実し、地区外へ楠浦の宝やイベントなどの魅力を伝え、情報の共有を図る。 ○広報くすのうら発行

楠浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期 5年以上			
				R8	R9	R10	R11				
【A】	PR事業	広報誌、ポスター、web媒体(ホームページ、SNS)等を活用し地域情報を発信する。 地域の特産品をホームページを通じて発信する。 また、部会などで情報発信や更新を手伝ってもらえる人を募集する。	PR事業については、紙媒体の広報“くすのうら”との取り組みを含めて検討。	検討						地区振興会	
【B】	戦没者慰霊事業	戦没者149柱を追悼し、世界の恒久平和を誓う。 式典は行わず、戦没者遺族にお供え物とメッセージを配布。	戦没者遺族へのお供え物等の配布 100人							地区振興会	
【B】	ふれあいフェスティバル	地域住民の文化の祭典、地区コミセンで活動しているサークルなどが発表。11月下旬に開催。	ふれあいフェスティバルへの参加者数 各年:300人							地区振興会	
【B】	伝統芸能保存事業	伝統芸能を次世代に伝承する事業 現在は、楠浦小学生が楠浦掘り切り唄を継承しており、市内の文化祭で発表。 獅子舞などについても後世に伝えるため支援する。	ふれあいフェスティバル及び文化協会事業での発表							伝統芸能保存会	
【B】	楠浦よかとこ案内人育成事業	案内人のスキルアップのため、偶数月の第3木曜日に研修会を開催するとともに、年に1回現地視察研修を行う。	常時15人程度を案内人として確保							地区振興会	
【B】	楠浦よかとこスタンプラリー大会	楠浦町の歴史や文化を学ぶために歩いて回るスタンプラリー形式の大会。毎年1月に開催。 楠浦小学校4年生が、名所旧跡の説明を行っており、参加者に好評を得ている。	参加者数 各年:150人							地区振興会	
【B】	文化財等保全整備事業	楠浦町の文化財や名所旧跡等を保全整備することは必要であり、地区が行う草刈り作業などの維持活動に補助を行う。	年3回程度草刈り作業を実施							地区振興会	
【B】	楠浦町よかとこマップ設置事業	絵画は一旦撤去し、人が多く集まる”錦島グラウンド”に楠浦町のマップを新たに設置する。	1年目:撤去・再設置	撤去・再設置						地区振興会	
【C】	振興会役員等視察研修	各地域が抱えている課題を解決するために参考となる先進地を視察研修する。 視察後は研修内容を関係する部会や定期総会に報告する。	年1回の実施 10人の参加者							地区振興会	
【D】	ミニバレーボール大会	分館対抗のミニバレー大会。45歳未満、45歳以上の部で毎年6月に開催。	ミニバレーボールの参加チーム数 各年:20チーム							地区振興会	
【D】	ソフトボール大会	分館対抗のソフトボール大会。各分館10人制のトーナメント戦。11月下旬に開催。	年1回開催							地区振興会	

楠浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期			
				R8	R9	R10	R11				5年以上
【D】	シニア健康球技大会	町民を対象に、健康維持と親睦を図るため、グラウンドゴルフ、ボーリング及びゴルフ大会を年間を通じて実施。グラウンドゴルフでは、子どもから大人まで参加する大会も実施。	グラウンドゴルフ: 3回 ボーリング: 2回 ゴルフ: 3回							老人会	
【D】	町民体育祭	町民総参加型の分館対抗の体育祭。毎年10月第1日曜日に実施。	各年800人の参加者							地区振興会	
【D】	サークル活動育成事業	サークル活動活性化のため、自主サークル立ち上げの際に支援を行う。	支援する団体数 各年1団体							地区振興会	
【E】	高齢者への記念品配布事業	敬老会式典を中止し、記念品の配布を行う。	高齢者に記念品の配布							地区振興会	
【E】	安全安心ネットワーク推進事業	一人暮らし高齢者等の見守り活動や弁当の配布等を行う。弁当配布については、楠浦小学校の児童生徒と一緒に配布する。	弁当配布: 年1回 はがき発送: 年2回							女性の会他	
【E】	いきいき健康事業(健康介護教室)	高齢者の介護予防・健康維持のため、毎週木曜日に実施。認知機能の維持・改善における効果が期待できるe-スポーツを導入する。	全地区での開催 毎週1回の実施							地区振興会	
【E】	ふれあいサロン交流大会	各地区のサロン参加者が一同に会し、健康体操やゲームなどを楽しむ。毎年10月に実施。	大会への参加者 各年: 70人							地区振興会 地区社協	
【E】	黄色い旗運動事業	独居老人の見守り活動の一環として、朝に黄色い旗を出して、夕方に取り入れることにより、体調不良などの早期発見を目指す。旗を出しっぱなしにしている所もあるので、運動の意義を理解してもらう必要がある。	黄色い旗運動の実施地区 全地区、全世帯で実施							地区振興会	
【E】	子ども秋祭り	毎年10月に実施。子ども達がお化け屋敷の体験や露店を体験する。これまでの猛暑の時期を避けて秋に実施。	秋祭りへの参加者 各年: 250人							地区振興会	
【E】	子どもお楽しみ事業	伝承遊びやニュースポーツ体験など子ども達が楽しんで参加できる機会を提供する。	参加者 各年: 40人							地区振興会	
【F】	防災・避難訓練	市の一斉避難訓練に合わせて、防災・避難訓練を実施。避難訓練後に地区コミセンにおいて消防署・消防団及び社協の協力・指導を得て、避難所運営、消火訓練、炊き出し訓練等を実施。	年1回開催 参加者 各年: 200人							地区振興会	

楠浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期 5年以上			
				R8	R9	R10	R11				
【F】	避難場所の整備	住民が円滑かつ安全に避難できる避難場所を表示し、整備する。 近年の災害の大規模化・多様化に対応するため、避難場所の見直しを行う。	1年目：見直し・整備 2年目：整備	見直し・整備	整備					地区振興会	
【F】	防犯パトロール	青少年の非行・事故防止、安全安心なまちづくりのため、見回り活動を毎年8月中に実施。	年1回実施							地区振興会	
【F】	町民清掃活動事業	町内一斉の環境美化活動。毎年6月第1日曜日とスタンプラリー大会前の1月に実施。	年2回の実施 清掃活動への参加者 1回の参加者:600人							地区振興会	
【H】	広報くすのうら発行	各種事業やまちづくり活動に関する情報を随時配信。	年12回発行 1年目にPR事業との関連を検討	検討						地区振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期 5年以上			
				R8	R9	R10	R11				
D	天草ハイヤ祭りへの参加助成金事業	天草ハイヤ祭りに参加する楠浦小及び稜南中に対して、参加費等の補助を行い支援する。	50人以上	検討					○	楠浦小PTA 稜南中学校	

※分野別は、記載不要です。

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	23.7	
人口(人)	総人口	1,751
	15歳未満	158
	15～64歳	848
	65歳以上	745
高齢化率(%)	42.5	
就業人口(人)	第1次産業	74
	第2次産業	94
	第3次産業	495
世帯数(世帯)	総世帯数	536
	高齢単身者	91
行政区数(区)	9	
学校	本町小学校、天草支援学校(小学部・中学部)	
文化財・史跡	鈴木明神伝碑、東向寺歴代住職の墓、市ノ瀬橋と石碑、一ノ瀬遺跡、柵の原遺跡、新休遺跡、福岡遺跡	
その他地域資源	鈴木神社、東向寺、矢筈岳、行人岳、不動の滝、百貫の滝、高滝	
地域伝統芸能	ふるさとまつり、虫追い太鼓、天領音頭、天草土人形	
地域づくり団体	区長会、老人クラブ連合会、青壮年連絡協議会、消防団本町分団 食生活改善推進員	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木代官を祀った鈴木神社や東向寺 ・壮大な天草灘を眼下に見下ろす眺望絶景な矢筈岳 ・住民は純朴・温厚・誠実な性格であり、盛んに交流が行われている ・鈴木精神「義を貫き 全力を尽くして 世のため人のために 奉仕する 愛の心」 ・天草支援学校、福祉施設が多数あり、住民との交流も盛んに行われている 		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の独り暮らしや高齢者世帯の見守りや健康維持 ・まちづくりの担い手やリーダーの育成が必要 ・地区のレッドゾーンが多く、災害時の避難場所や避難経路に不安が多い ・学校の統廃合が進み、地区の子供たちが集まる場が減少している 		



鈴木神社

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	笑顔の絶えない 元気で 住みやすい本町
考え方	<p>本町は鈴木神社や東向寺などの歴史的資産や、矢筈岳や広瀬川に代表される豊かな自然を持つ魅力的な地域である。また、障害者施設や介護施設、病院、保育園や学校などの様々な施設を有する福祉の本町でもある。しかしながら、少子高齢化の波は4年前よりさらに進んでいる。高齢者世帯の増加、就農者の高齢化、荒れ地と化す耕作放棄地、空き家の増加などの課題は尽きない。</p> <p>そんな本町を活力と魅力ある町にするために何ができるか既存の行事などの見直しを含め、住民全体で知恵を出し合い論議する。歴史、自然、住民それぞれの魅力を活かした活力ある住みよい本町を今後もめざしていきたい。</p>

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> 多くの地域資源を有しているが、充分活用しきれていない。 伝統工芸「天草土人形」が有名。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区の史跡、名所めぐりなど、地域資源を活用した事業を実施する。
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> 様々な世代が楽しめるイベントや各種スポーツ大会を実施している。 次世代を担うリーダーの育成がのぞまれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な世代が参加できる事業を実施する。 各部会を活性化させ、負担を分担する仕組みづくりに取り組む。 地域づくり部会ではイルミネーションを中心に、健康福祉部会では通いの場やサロン等の交流会を継続していく
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健全育成のための共同活動等を実施している。 児童数が減少している。 子どもたちが集まる場や機会が減少している 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども料理教室や寺子屋体験など、子どもが参加しやすい事業を実施する。 保育園、小中学校、天草支援学校との連携を図り、子どもの育成にむけて地域全体で取り組む。
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちや高齢者の見守り活動を行っている。 高齢世帯が増加している。 移動手段がない高齢者が、集まり等に参加できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの登下校の安全や高齢者の見守り活動を充実する。 通いの場やふれあいサロン等の拡充によって、高齢者が元気になるための支援を充実する。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> 環境美化に町全体で取り組んでいる。 地区によって防災に対する意識の差があり、自主防災組織がうまく機能していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 景観保全や地域の財産を守るため、清掃活動を地区全体で取り組む。 各行政区ごとでの、実際の災害発生時に即した防災訓練を実施する。

本町地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
E	健康づくり推進事業	ふれあいサロンや通いの場の拡充と活動支援を行う。年1回ふれあい交流会を開催。	100名の参加						振興会	
E	戦没者追悼式	献花方式での慰霊祭を実施。	100名の参加						振興会	
F	防災事業	各自主防災組織での訓練の実施と備蓄の推進。住民への防災の意識を高めてもらうためにも地域で取り組む。	100名の参加						自主防災組織	
F	清掃大作戦	町民も利用する小学校グラウンド、本町運動広場・柵の原通学路を、町民全体で清掃する。	150名参加						振興会	
F	町内一斉清掃	各地区町民総出でゴミ拾いや草刈を行い、町の美化に努める。	150名参加						自治会	
C	振興会長杯グラウンドゴルフ大会	日頃からグラウンドゴルフをされている方を中心に多くの方に参加していただき健康増進・地域交流を目的として行う。	70名の参加						振興会	
C	合同研修会	年1回講師をお招きし、振興会役員の学びの場として開催する。	40名の参加						振興会	
D	子ども料理教室	肥満や体力の低下がみられるため、朝食の大切さや適性な砂糖の摂り方などを子どもたちに実際教えていく。	30名の参加						食改	
E	健康料理教室	食生活改善推進員さんを中心に調味料過多な食生活の改善と健康的な食生活を推進することで、健康寿命の伸長を目指す。	15名の参加						食改	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
F	GC(グラウンドクリーン)事業	本町地区を4地区に分けて3ヵ月に1度本町小学校グラウンドの除草作業を行う	100名参加						自治会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

本町地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
B	ぶらりウォーク	自然に触れながら散策をすることで、地区の魅力に触れてもらい、それを地区外に広めていく。	200名の参加	→				振興会		
C	生涯学習フェスタ	振興会サークル活動として日頃の練習の成果を発表し、親睦を深める。	来場者100人	→				振興会		
C	イルミネーション	コミセン周辺、一本松広場、旧JA本渡五和本町支所跡地へのイルミネーション設置。	来場者100人	→				振興会		
C	町民ミニバレー大会	地区ごとにチームを組み一致団結の絆をはぐくむとともに、健康維持と親睦を深めることを目指す。	200名の参加	→				振興会		
C	町民体育祭	町全体として各競技を行い、運動を楽しみながら住民同士の絆と親睦を深める。	600名参加	→				振興会		
C	ふれあいミニバレー大会	自主サークル対抗で試合を行い、日頃の練習の成果を競い合うとともに相互交流を行う。	100名の参加	→				振興会		
C	ふれあいソフトボール大会	自主サークル対抗で試合を行い、日頃の練習の成果を競い合うとともに相互交流を行う。	100名の参加	→				振興会		
C	広報誌発行	広報を発行し、振興会活動の町民への周知と、まちづくりへの意識の高揚を図る。	月1回以上の発行	→				振興会		
C	本町ふるさとまつり	鈴木神社例祭と産業祭を合わせた本町ふるさとまつりを開催する。フリーマーケットや作品展示、ステージ発表を行い、住民の文化芸術の披露の場を作り、町外の人に訪れてもらう。	4,000名の来場	→				振興会		
D	サマーキャンプ	本町から富岡までの道を歩き、野外活動を行うことで、自然の大切さを体感し、創造性や協調性あふれるたくましい心身の育成を図る。	50名の参加	→				振興会		
D	寺子屋体験	小学生を対象とし、共同生活での協調性あふれる心身の育成、様々な体験活動での創造性豊かな人間性の形成を図る。	30名参加	→				振興会		
E	いたてみゆう会	高齢者が一堂に会して食事をとり、安否の確認と相互の交流を図る。	200名参加	→				自治会老人会		
E	敬老会	長年社会へ貢献してこられた高齢者に記念品を贈呈する。	300個贈呈	→				振興会老人会		

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	6.9km ²	
人口(人)	総人口	3,368人
	15歳未満	365人
	15～64歳	1,636人
	65歳以上	1,367人
高齢化率(%)	40.6%	
就業人口(人)	第1次産業	104人
	第2次産業	233人
	第3次産業	1,103人
世帯数(世帯)	総世帯数	1,214世帯
	高齢単身者	193世帯
行政区数(区)	15区	
学校	佐伊津小学校・学校運営協議会	
文化財・史跡	<ul style="list-style-type: none"> ・妻の鼻墳墓群・金浜城石垣・江川地の延命地蔵尊 ・阿弥陀寺(小学校発祥の地)・キリシタン墓碑・特攻隊石碑 ・旧海軍飛行場跡・高山城跡 	
その他地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水水脈・水源涵養林 	
地域伝統芸能	<ul style="list-style-type: none"> ・獅子舞・神楽太鼓 	
地域づくり団体	<ul style="list-style-type: none"> ・青年団・婦人会・老人会・だりっちゃ(佐伊津子ども育成会) 	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで環境が良い。 ・生活用水、農業用水のほとんどを地下水でまかなっている。 ・本渡地区で唯一となった青年団が活動しており、地域の諸行事に積極的に協力している。 ・スポーツがさかんで、住民同士の交流や親睦を図る機会が多く、健康に対する意識が高い。 ・路地が多く背戸家のある街並みが特徴的である。 ・古くて歴史ある場所(地蔵様や寺等)が多い。 ・小学校にすもう場があり、60年以上の歴史をもつすもう大会が毎年開催されている。 ・子ども育成会だりっちゃやスポーツ団体等により指導者がいて青少年の健全育成に力をいれている。 ・地元で新鮮な魚が手に入りやすい。 ・小中学生のあいさつがよく仲が良い。住民の協力体制も良好である。 		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・地下水の水位低下と水質の悪化が顕著になっていたが、下水道の基盤整備が整ったことで、住民に対して下水道への接続を推進し、環境悪化を食い止めていかねばならない。水資源に対する危機感を周知し、節水等の理解を求めていく必要がある。 ・空き家や耕作放棄地が増えはじめ、防犯面や環境面の悪化が懸念されるようになってきた。 ・結婚後は本渡地区に住む人が増えている等、人口減少、少子高齢化が進んでおり、地域行事への参加者が固定化され、継続も難しくなっている。 ・まちづくりについて関心のある人材を発掘し、リーダーを中心に自分たちの町は自分たちの手づくりあげていくという意識をいかに図るかが課題である。 ・独居や高齢者だけの世帯、認知症の家族を抱える世帯が多くなり、地域住民同士が互いに助け合う意識を高めていく必要がある。 ・ポイ捨てや不法投棄等が目立つので、環境美化の意識を高めていく必要がある。 ・街灯がなく、安全面や防犯面で危険な個所がある。また、子供の飛び出しや自転車の危険運転、不審者情報等が多くあるため、地域一丸となった見守り体制が必要である。 		



(江川地の延命地蔵尊)

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	住民が地域に愛着と誇りを持ち、住みやすいと思えるまち
考え方	これまで行ってきた地域の伝統行事を大切に継承し、地域の活性化を図っていくとともに、近所が気軽に声をかけあい笑顔であいさつしあう人情が厚く温かみのあるまちをめざしていきます。また、先人から受け継いだ貴重な財産である地下水の保全活動に今後も取り組みます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業経済	・耕作放棄地が増加しており、生活環境の悪化や農業の衰退が危惧されている。	・耕作放棄地を活用した、親子農業体験など農業にふれる機会を提供することにより、耕作放棄地対策、ひいては地域の活性化を図る。 ○アグリチャレンジ
【B】 観光・文化	・地区には豊富な文化財や史跡等、観光に繋げられる素材があるが、うまく活用されていない。	・観光マップ等を活用し地域のPRを進め、交流人口の増加を図る。 ○観光マップや佐伊津夜話のPR ○ウォークラリー など
【C】 地域振興	・各事業やイベントへの参加者が固定化されている。若い世代が地域行事にあまり参加しない。 ・地域リーダーの育成や団体役員の世代交代が進まず、高齢化してきている。	・これまで取り組んできた地域の伝統行事を絶やさないためにも、特に若い世代がリーダーとなって活躍できるような取り組みを行い地域の活性化を図る。 ・各種スポーツの普及と指導者の育成を推進し、健康で笑顔あふれるまちづくりに取り組む。 ○ふるさと祭りの開催 ○町民体育祭等スポーツ行事の開催 ○地域リーダー養成への取り組み ○郷土料理の伝承と普及活動 など
【E】 保健・医療 ・福祉	・高齢化が一段と進み、認知症の家族を抱える世帯や高齢者だけの世帯が増えてきている。 ・核家族化が進み、子どもと高齢者が触れ合う機会が少なくなっている。 ・結婚後は、佐伊津に住まず本渡地区に住む人が多いため、若い世代が少なくなり、少子高齢化に歯止めがかからない。	・高齢者が孤立化しないよう地域との触れ合いがもてるような取組を行う。 ○ふれあい交流会の開催 ○まごころ訪問 ○高齢者集いの場 ○敬老会 など
【F】 生活環境 ・防犯防災	・ゴミの不法投棄が見られる箇所がある。 ・人口減少による空家の増加や外灯の不足等により防犯面で不安な点がある。	・ごみのない町を目指した取り組みを行う。 ・未然に事故や事件を防ぐための取り組みを行う。 ・津波など自然災害に対する住民の防災意識を高めるための取り組みを行う。 ○地区内清掃作業の実施 ○ポイ捨て禁止運動 ○EM液による河川の浄化活動 ○防災訓練の実施 など

■第6期佐伊津地区振興計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期			長期			
				R8	R9	R10	R11	5年以上		
A	アグリチャレンジ	耕作放棄地対策も兼ね、親子のできる農業体験活動を行う。(田植え、稲刈り、餅つき)	最終目標 延べ120人の参加						振興会・水利組合	青少年育成
B	観光マップ・佐伊津夜話のPR活動	・振興会だよりやHPで掲載する。 ・小学校の学習やウォークラリー等で観光マップを活用する。 ・同窓会等で佐伊津夜話のPRを行う。	観光マップ 佐伊津夜話600冊						振興会	地域づくり
C	地区振興会だより発行	各事業のお知らせや結果報告、地域の話題等を掲載する。また、年1回特別号の発行を行う。	毎月1回、1日の発行 年1回特別号の発行						振興会	事務局
C	ホームページ管理	月に1回及び不定期に更新。振興会だより等で周知する。	HP閲覧者数 年間:20,000件						振興会	事務局
C	ふるさと祭り	各種サークル等によるステージ発表、作品の展示、各種団体による出店等。各種行事等との日程調整を図りながら11月(第2~4日曜日)に実施予定。	来場者数 1,200人						振興会	地域づくり
C	郷土料理の伝承と普及	ふるさと祭りで郷土料理の提供を行う。	ふるさと祭り600食						振興会・婦人会	地域づくり
		婦人会を講師に親子料理教室を開催。	親子料理教室40人							青少年育成
C	地域リーダー養成の取り組み	各研修会や事業への積極的な参加を促していく。	研修への参加3人/年 講演会への参加10人/年						振興会	地域づくり
C	先進地視察研修	役員改選の年(隔年)に併せて実施していく。	役員全員参加						振興会	地域づくり
C	自主サークル活動	ふるさと祭り等において展示・発表を行う。	6団体						振興会	地域づくり
C	花いっぱいのもちづくり	・年に2回花壇の花の植替えを行う。(春・秋) ・年に数回花壇の整備作業(草刈り・植替え準備)を行う。 ・花づくり教室を開催する。 11月実施予定。	延べ参加人数 300人						振興会	地域づくり
C	佐伊津グラウンド整備	・佐伊津グラウンド(旧佐伊津中)及び周辺の除草作業を行う。 年に数回実施予定。(7月、各行事前) ・各行事でグラウンドを利用するため、安全により良く活用できるよう整備を行う。	参加人数100人 グラウンド整備の完了						振興会	地域づくり

■第6期佐伊津地区振興計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期			長期			
				R8	R9	R10	R11	5年以上		
C	スポーツフェスタINさいつ	グリーンボール(ソフトボール)、ミニバレー、グラウンドゴルフ、子ども競技等を行う。6月上旬に実施予定。	全ての競技への全地区の参加						振興会	健康増進
C	町民体育祭	老若男女、多くの方が参加できるプログラムを組み実施する。10月第1日曜実施予定。	参加人数1,000人						振興会	健康増進
C	町内一周駅伝	町内コースで襷をつなぐ。1月に実施予定。	全地区の参加						振興会	健康増進
C	スポーツ講演会	スポーツ著名人による講演を実施し、スポーツの普及・啓発を図る。	1講演100人参加						振興会	健康増進
C	町内ウォークラリー	全長約5kmのコースにチェックポイント等を設置し回る。10月に開催予定。	参加人数120人						振興会	青少年育成
C	だりっちゃ和太鼓の演奏	敬老会で和太鼓の発表を行う。	参加人数15人						だりっちゃ	青少年育成
C	天草ハイヤの披露	敬老会やふるさと祭り等において、小学生(4~6年生)の子どもたちによる天草ハイヤを披露する。	参加人数60人						振興会	青少年育成
C	子ども神輿	佐伊津神社例大祭に、だりっちゃによる子ども神輿で参加する。	参加人数20人						だりっちゃ	青少年育成
C	地域体験学習	小学校4年生以上を対象にした、御所浦町での自然体験及び民泊体験。7月下旬実施予定。	参加人数20人						だりっちゃ	青少年育成
E	高齢者と小学生の交流	老人会の方と昔の遊び等を実施。	参加人数50人						振興会	福祉生活
E	敬老会	敬老の対象者を招待し、式典を実施する。対象者へ記念品を贈呈する。	敬老対象者						振興会	福祉生活
E	まごころ訪問	75歳以上の1人暮らし及び2人暮らし世帯に対し、手作り弁当と子ども達からのメッセージ等を配る。	小学生30人以上の参加						地区社協	福祉生活
E	ふれあい交流会	年3回実施予定。うち2回は地区の保育園児との交流を行う。	保育園と合同時70人、高齢者のみ50人の参加						地区社協	福祉生活
E	高齢者集いの場	高齢者が気軽に立ち寄れる場を作る。年1回実施	参加者50人						振興会	福祉生活


■第6期佐伊津地区振興計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期			長期				
				R8	R9	R10	R11	5年以上			
E	家庭教育講演会	年1回実施、実施時期は未定。	参加者50人						→	振興会	福祉生活
F	町内ピカピカ大作戦	地区内を6コースに分けゴミ拾いを実施。 11月実施予定。	参加人数80人						→	振興会	青少年育成
F	夜間防犯パトロール	学校の夏休み期間中2回、夜間に実施する。	延べ参加人数40人						→	振興会	青少年育成
F	道ぶしん(地区清掃作業)	地区内の草刈り等清掃作業。 5月と10月の第2日曜日に実施予定。	全区で実施						→	区	自治環境
F	佐伊津町防災訓練	各地区の避難場所への避難訓練と、コミセンでの講習の2部構成。 6月実施予定。	参加人数600人						→	振興会	自治環境
F	自主防災組織の活用	各地区ごとに勉強会等の開催や市主催のリーダー養成講演会を受講する。	各地区勉強会1回以上 講演会参加、各地区2人以上						→	区	自治環境
F	EM液による河川浄化活動	河川へのEMダンゴの放流。 年3回実施予定。	延べ参加人数50人						→	振興会	自治環境
F	川の探検	小学生(4~6年生)を対象とした、河川の環境調査を行う。 夏休み期間中に実施予定。	参加人数40人						→	振興会	自治環境
F	海岸一斉清掃	海岸沿いの清掃作業。 9月ごろ実施予定。	参加人数150人						→	振興会	自治環境
F	ポイ捨て禁止の推進運動	看板設置や振興会だよりの記事による啓発活動をおもに取り組む。	年1回以上の記事掲載を行う						→	振興会・区	自治環境
F	交通安全指導	町内各行事における交通指導 通学路の維持管理 交通安全教室の開催	交通安全教室を年2回以上開催、 延べ参加人数50人以上						→	振興会	自治環境

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

地区の概要(R2国勢調査参考)			
面積(km ²)	20.3		
人口(人)	総人口		449
	15歳未満		30
	15～64歳		188
	65歳以上		231
高齢化率(%)	51.4%		
就業人口(人)	第1次産業		52
	第2次産業		41
	第3次産業		130
世帯数(世帯)	総世帯数	214	
	高齢単身者	53	
行政区数(区)	5	宮地岳かかし村(豆木場自治公民館付近)からの風景	
学校			
文化財・史跡	宮地岳神社、屋形菅原神社(牛神様)		
その他地域資源	角岳、普賢岳、亀ヶ淵、かかし		
地域伝統芸能	太鼓踊り		
地域づくり団体	区長会、老人会、消防団、子ども会		
地区のいいところ・自慢できること			
<ul style="list-style-type: none"> ・美しい山や川に囲まれ、緑が豊富で空気や水がきれいである。 ・角岳や普賢岳の山頂からの眺望はすばらしく、4つの川が合流する「亀ヶ淵」は天草下島を代表する景勝地である。 ・人情豊かで温かく、地域にまとまりがある。 ・「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に青少年の健全育成の取り組みがなされている。 ・豊かな自然を生かした農作物の生産も盛んで、米・ナタネ油・木炭などの特産品は有名である。 ・農地がよく管理されており、休耕地が少なく景観が保たれている。 			
地区が抱える課題・困っていること			
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が50パーセントを超えと地域の高齢化が進み、高齢者の一人世帯、二人世帯が増加していることから地域での見守り体制の充実を図っていくことが必要である。 ・病院やスーパーなどへ行く際、移動手段を持たない高齢者にとって交通の便が悪く不便である。 ・農業は水稻を中心に盛んであるが、60歳以下の労働世代はほとんどが勤めており、農家の兼業化や高齢化が進み、担い手が不足している。 ・空き家が急速に増えてきており、倒壊する危険性のある空家も多いが空家を解体する貯えがない。 			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	天草の里山“宮地岳” みんなで安心安全の里づくり
考え方	天草下島のほぼ中央に位置する立地条件と美しい山々や川に囲まれた自然環境、豊かな自然を生かした農作物など、地域資源を活用したまちづくりを行っていきます。 また宮地岳の将来を担う地域の子どもは地域で育て、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくりを行っていきます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・観光交流施設「宮地岳道の駅 かかしの里」が開業し、高齢者の雇用の場所ができた。また宮地岳営農組合も季節労働者を雇用しており、高齢者の雇用の場が確保できている。	○観光交流施設「道の駅」を活用したまちづくり ・観光交流施設「道の駅」の開設に伴い、お食事処や加工品販売など地元住民が稼げる場所の確保は出来た。地域資源を把握し特産品の開発を行う。
【B】 観光 ・ 文化	・地区に伝わる伝統芸能を継承する後継者が減ってきている。 ・田舎の生活を体験できる民泊がある。 ・豊かな自然と素晴らしい景観が残っている。 ・観光交流施設「道の駅」がある。	○豊かな自然を活かし、継承していくまちづくり ・地域が一体となって次世代への伝統文化の継承に取り組む。また民泊や観光でこられた方々に、田舎の生活や自然を親しんでもらえるよう自然環境の維持や整備を図る。 ・観光交流施設「道の駅」を利用したかかし展示の充実や観光客の体験事業の増加を図る。
【C】 地域 振興	・年々人口が減り、少子高齢化に歯止めがかからない。 ・高齢化が進み、イベントへの参加が減少傾向にある。	○みんなが参加するかかしを使ったまちづくり ・宮地岳の豊かな自然を生かし特色ある作物を生産し、若者の定着をすすめる。 ・かかしを生かした取り組みを拡大し、地域全体の活性化を図る。
【D】 教育	・児童館の開設により、子どもたちの安全な生活や遊びを通しての健全な育成が図られている。	○地域の子どもは地域で育てるまちづくり ・宮地岳の将来を担う子どもは地域の宝であり、これからの地域を担う一員であることから「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に様々な体験活動や高齢者との世代間交流活動に取り組む。
【E】 保健・医療 ・福祉	・高齢者のみの世帯が増えている。 ・高齢者の移動手段となる交通機関が整っていない。 ・高齢者介護支援施設「かかしの里」による介護支援が行われている。	○安心安全で暮らせるまちづくり ・高齢者がいつまでも安心して暮らせるよう、地域で支えあう見守りあう地域づくりを進める
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・災害時の自主避難が難しい世帯が増えている。 ・亀ヶ瀬整備後、不法投棄が減り休憩地としても活用され、自然豊かな景観が保たれている。 ・菜の花や紫陽花 彼岸花など花による景観維持が図られている。 ・人口減少に伴い空き家が増えている。	○安全安心で快適なまちづくり ・宮地岳の美しい自然を後世に残すため、子どもから高齢者まで住民が一体となって環境美化運動に取り組む。 ・空家の活用を推進し若年層の定住を図る。 ・非常時に円滑に避難できるよう体制の充実。
【G】 都市基盤整備	定期的な清掃作業や除草作業を行っており、生活環境は整っている。	○暮らしやすい機能的なまちづくり ・美化活動により良好な景観を保つ
【H】 総務・企画	・振興会役員の後継者が不足している	○実情に合ったまちづくり ・振興会役員同士の組織力を強化する。 ・振興会活動のPRを行う

宮地岳地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
A	特産品開発事業	宮地岳町でとれた地域資源を利用し、特産品を開発。道の駅での販売向上を目指し、併せて雇用の場の確保も図る。	特産品開発1個以上						協働 (振興会+営農組合)	
BC	かかし事業(かかし祭り、かかし展示、かかし作り)	手作りのかかしを活かしたまちづくりを継続するため、かかしの展示や祭りの実施。かかし作りによる町民の交流、生きがい作りを図る。	かかし祭り期間中 来場者2万人以上						振興会	
CE	地域づくり講演会	地域内の人材の発掘や地域の活性化につながるような講演会を実施する。高齢者を対象とした勉強会や親睦和も併せて図る。	講演会を年一回実施						振興会	
C	盆踊り	お盆に帰省した方々や普段会えない方々との再会の場を提供する。町民同士の親睦の場の提供	来場者200人以上						振興会	
C	宮地岳かかしウォーク	宮地岳町内の名所を散策し、宮地岳町の良さを再発見してもらうことが目的。	参加者50人以上						振興会	
D	わんぱ〜く研修旅行	子どもたちの健全育成を図るため、日常生活では経験できない場所へのバス研修を実施	バス研修参加者10名以上						振興会	児童減少
D	わんぱ〜く体験事業(田植え、稲刈り、餅つき)	地域の農業を活かした米作り体験を通して地域を知り、愛情を持てるよう育みながら、食の大切さや大人との交流により健全な育成を図る。	各参加者10人以上						振興会	児童減少
D	子ども育成事業	子どもたちの健全な育成を図るため、在宅医療法人「つなぐ」の協力を得ながら、寺小屋体験を実施する。	参加者10人以上						振興会	児童減少
E	宮地岳町球技大会	町民の親睦と健康増進を図ることを目的とし、世代間を超えた親睦交流を図りながら実施	参加者50人以上						協働 (振興会+診療所)	
E	敬老会	75歳以上の高齢者を敬うため、敬老会を実施。	敬老会出席者50人以上						振興会	
E	地域見守り・支えあい事業	高齢者の一人暮らしや高齢者世帯を見守り、支えあう地域づくりに取り組む	月1回以上の訪問による見回り						各地区	
F	宮地岳美化運動	町内全域において幼児から高齢者まで一同に会し美化作業を実施。特に青少年の地域活動への参加と地域の美化意識の向上を図る。	美化作業参加者100人以上						区	
F	環境美化運動(夏・冬)	市道の除草作業を中心に清掃活動を行い、地域の環境美化を図る。	作業実施年2回						区	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

宮地岳地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
F	運動広場整備作業	各地区と老人会などが中心となり運動広場周辺の除草作業を行い、環境美化を図る。	作業実施年3回	→					区	
F	防災訓練	災害時に迅速な救命・消火活動が行えるように訓練し、併せて炊出し訓練も実施する。	訓練年1回実施	→					振興会	
F	戦没者追悼	宮地岳の戦没者を追悼する。	毎年4月に実施	→					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

宮地岳地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期		
				R8	R9	R10	R11			
EH	地域相談室	地域の困りごとを把握できるよう窓口を開設。交通難民や高齢者の困りごとの解消を図る	町民アンケートを半期ごとに実施						振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

